

住まいの塗り替えは
わたしたちにおまかせください!

**KANSAI
PAINT**

リフォーム
サミット店
Supported by KANSAI PAINT

「関西ペイント」の最良の塗料と「リフォームサミット店」の確かな塗装技術で、
最適な塗り替えをご提案します。

リフォームサミット店へ
お気軽にご相談ください



詳しい情報はこちらから!



リフォームサミット
Webサイト



リフォームサミット
紹介動画



お近くの
リフォームサミット店が
検索できます

EnaLloid

ENA

Craftsmanship makes a *“difference”*

Ena Optical Mfg. Co., Ltd.
恵那眼鏡工業株式会社

〒508-0101 岐阜県中津川市苗木 4827-48

TEL : (0573)-67-2211 (代)

FAX : (0573)-67-2214

E-mail : info@ena-gf.jp

咲耶

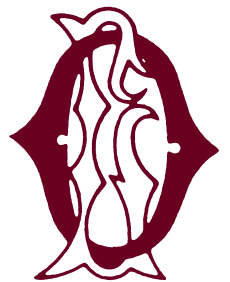
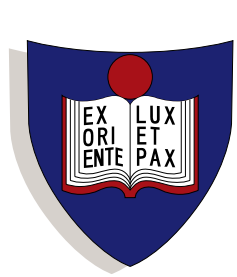
会報「咲耶」
2025 No. 36



7月に開催されたシンポジウム「さまざまな視点で世界を見る ハンガリー編」の後の交流会

写真撮影：並川嘉文・外国語学部

咲耶会 (大阪大学外国語学部・大阪外国語大学同窓会)



〔表紙のことば〕

新キャンパスに移転して5年目。昭和から数えて100年、戦後80年の節目の今年は、大阪・関西万博開催の年でもありました。万博を機に、世界各国から賓客が訪れ、キャンパスは大いに活気づきました。7月には、第3回「さまざまな視点で世界を見る ハンガリー編」を開催。「出会いが紡ぐ音と色の物語」のテーマで、伝統刺繍研究家の講演に始まり、さまざまな分野で活躍する卒業生による座談会、クラリネット奏者のコンサート等、ハンガリーの伝統文化、音楽と歴史、社会を知る外国語学部ならではの魅力に満ちた講演会となりました。講演会後の第2部は、3階ピロティ、阪大広場での「ハンガリー料理と眞面ビールを楽しむ会」。ハンガリー大使館特製の伝統的焼菓子「ボガーチャ」を片手に、食と音楽、民族舞踊でハンガリーを満喫しました。手を取り合って輪を作り、地域の方と学生、教職員が一緒に踊る姿は、まさに、「OU グローバルキャンパス」の面目躍如たるものでありました。

目次

2-3	ご挨拶 咲耶会会長 大内 一 大阪大学 総長 熊ノ郷 淳 外国語学部長 筒井佐代 令和7年度 総会・懇親会のご案内
4-6	〔特集〕阪大外国語学部生の大阪・関西万博体験記
7-8	令和6年度大阪大学司馬遼太郎記念学術講演会
9-10	〔特集〕留学体験記 大中礼士／近 志門
11-12	私のキャリアレポート ヴァンソン藤井由実／中村一博
13	菜の花 武田佐知子
14-16	CAMPUS NEWS
17-18	部活動の広場
19-22	咲耶会ニュース 令和6年度 決算報告／令和7年度 予算案
23-24	つどい
24-29	支部だより
30-32	短信
33	追悼文 物故者
34-36	年会費支払者・賛助金寄付者一覧
37	咲耶会（同窓会）本部・支部一覧表
38	令和7年度 咲耶会役員名簿 個人情報の取扱いについて 編集後記

学 士 会 をご存じですか？

学士会は旧七帝大（北大・東北大・東大・名大・京大・阪大・九大）の卒業生・教員・学生からなる、七大学総合同窓団体です。咲耶会の皆さまのご入会をお待ちしております！

学士会会員特典

- 1 『學士會会報』が届きます。
- 2 講演会・イベントへ参加できます。
- 3 「提携サービス」優待があります。

他にも様々な活動が可能です。詳細は学士会公式サイトをご覧ください。
<https://www.gakushikai.or.jp/>

学士会案内が届く準会員（無料登録）制度もございます。

一般社団法人 学士会

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-2-2
住友商事竹橋ビル2階
03-6665-6983 / member@gakushikai.or.jp



※「学士会館」は再開発のため、現在閉館中です。再開は2030年頃を予定しています。

ご挨拶



咲耶会会長

大内 一

咲耶会の活動は、卒業年次や専攻言語、居住地の遠近を問わず、共有しうる「心の居場所」を会員の皆様に提供すること、換言すれば、時空を越えて会員の皆様がコミュニケーションを行うためのハブの役割を果たすことを旨としています。会報『咲耶』はそのための中心的な担い手となっていることは言うまでもありません。

『咲耶』には、咲耶会が協賛する司馬遼太郎記念学術講演会の報告をはじめ、卒業生による「キャリアレポート」や現任教員による「Campus News」、新たに専任教員として赴任された先生方に関する「新着任教員紹介」、「部活動の広場」など、さまざまな記事を掲載していますので、外国語学部の現状に関心を持って頂くだけでなく、学生時代を思い出し懐かしく楽しんで頂ければ幸いです。同時に、紙媒体の『咲耶』のほかにも、

咲耶会の会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今回、こうして会報『咲耶』の最新号を皆様にお届けできることは、ひとえに平素より皆様から頂戴している咲耶会へのご理解とご協力の賜物でございます。ここにあらためて深く感謝申し上げます。

咲耶会の活動は、卒業年次や

公式ホームページやFacebook、X（旧Twitter）、InstagramといったSNSに咲耶会の公式アカウントを開設して、会員の皆様の交流あるいは情報交換の場を提供していますので、皆様それぞれのライフスタイルに合ったメディアをご活用頂ければと思います。

10月には、個人情報保護法という制限的な環境の中で、咲耶会の『同窓生名簿』の改訂版を4年ぶりに発行いたします。『同窓生名簿』が、疎遠になっている旧友と連絡を取り合い、再会し、旧交を温める役割を果たせば幸いです。もちろん、社会で活躍されている現役の同窓生の皆様にとって、仕事の上でも有用であると確信していますので、個人あるいはオフィスでご購入頂ければ幸いです。

最後になりますが、昨今は経済的な不況のせいか、あるいは学生気質の変化のせいか、大阪大学の他の文系学部と同様に、外国語学部でも同窓会に入会する現役学生数が激減しています。それに伴い、会費収入も大きく減少しています。質・量を減ずることなく今までの同窓会活動を維持することが困難になりつつあり、会員確保が喫緊の課題となっています。会員の皆様におかれましては、是非とも休眠会員の掘り起こしや未入会の卒業生に対する入会勧誘にご協力のほどお願い申し上げます。

「この国の大学のかたち」



大阪大学 総長

熊ノ郷 淳

例えば小説『花神』では、緒方洪庵の適塾を大阪大学の源流と描き、「校祖」として言及されています。また本学の理念「地域に生き世界に伸びる」は、第11代総長・山村雄一先生が、

このたび会報『咲耶』に寄稿の機会を賜り、大変光栄に存じます。私自身、司馬遼太郎先生の熱烈な愛読者であり、先生の作品からは歴史の深い洞察や人間への温かな眼差しに触れ、多くの示唆を受けてまいりました。

司馬先生は旧大阪外国語大学モンゴル語学科のご出身であり、本学とご縁も深い方です。たと

将来構想会議において司馬先生の助言も得ながら生み出した標語であり、現在も私たちの重要な指針となっています。

私はこの4月から大阪大学総長として、地域と世界を結ぶ大学づくりに取り組んでいます。その中で、旧外国語大学の伝統を受け継ぐ外国語学部の果たす役割は極めて大きく、特に地元自治体などと連携して多文化共生を支援する「ふくふくセンター」の活動は、地域に根ざした実践知の象徴といえるものです。

今後も教育・研究の国際化を進めるとともに、地域社会とともに歩み、多文化共生と知の融合を体現する大学として進化を続けてまいります。卒業生の皆様の一層のご活躍とご支援を心よりお願い申し上げます。



外国語学部長

筒井佐代

2024年4月より大阪大学外国語学部長を務めております、筒井佐代と申します。咲耶会会員の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

ご存じのように、今年は4月から大阪・関西万博が開催されています。外国語学部では、25の専攻語を含む約60の言語の授業が開講されていますが、万博には158の国と地域が参加しているとのこと。大学では学ぶことのできない多くの国や地域の人や文化に接することのできる場として、学生たちも万博を見に行き、さらには学習している言語を使ってパビリオンでアルバイトをするなど、貴重な体験を得ております。会員の皆様も万博にいらっしゃる機会がありましたら、学生たちの活躍ぶりをご覧くださいこともあるかもしれません。

この万博を機に5月には、万博のブルガリアパビリオンで、ブルガリア語を学ぶ学生たちが大統領にブルガリア語でスピーチをするという機会をいただきました。

また、ハンガリー大統領夫妻が箕面キャンパスをご訪問になり、ハンガリー語専攻の学生たちとの交流会にご参加くださいました。いずれも、大統領に直接お目にかかることができるという大変稀有な機会であり、学生たちにとっては夢のようなひとときだったと思います。さらに、6月にはコンゴ民主共和国首相も箕面キャンパスを来訪され、学生に向けてご講演くださいました。遠い国を身近に感じその国の言語で意思疎通ができるという経験は、外国語学部生ならではのものであり、このような経験の一つ一つが学生の自信につながっていると考えると、人と人が直接会ってコミュニケーションをとることがいかに重要であるかということを改めて感じさせられます。AIの発達によって語学学習の必要がなくなるのではないかという危惧も囁かれています。このような時代だからこそ、生きた言語の使い手を養成することがますます必要であると確信しております。

今後とも、大阪大学外国語学部への変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和7年度 総会・懇親会のご案内

日 時：令和7年11月8日(土)午後1時30分～午後6時
会 場：大阪大学箕面キャンパス 外国学研究講義棟1F
大阪外国語大学記念ホール・大講義室
大阪府箕面市船場東3－5－10
TEL 072-728-2327 (咲耶会事務局直通)

<第Ⅰ部>

- 咲耶会総会：午後1時30分～午後2時30分
- 「咲耶出版大賞」表彰式：午後2時30分～午後3時
- 講演会：午後3時～午後4時



講師：佐々木正明氏

(大 R44 / ロシア語学科 1996 年卒業)

大和大学社会学部社会学科教授 元産経新聞社モスクワ支局長

演題：「戦後 80 年、キーウに鳴り響く空襲警報

～ウクライナ取材報告 現地で何が起きているか～」

- 休憩 午後4時～午後4時20分

■ 箕面キャンパスへのアクセス

- ・北大阪急行線「箕面船場阪大前駅」下車 徒歩 約3分
- ・阪急バス「阪急石橋北口」発「千里中央行」、
「箕面船場阪大前駅」下車 徒歩 約3分
- ・阪急バス「阪急豊中駅」発「千里中央行」、
「新船場南橋」下車 徒歩 約7分

<第Ⅱ部>

- 懇親会：午後4時20分～午後6時
懇親会会費：5,000 円（当日会場でいただきます）
- ※ 新卒業生会員（令和7年3月／令和7年9月卒業）及び
学生会員は無料です。未加入の学生については、
会費として、1,000 円をいただきます。
- ※ 卒業後 50 年の会員には、記念品をプレゼントします。
多数のご出席をお待ちしています。
- 参加ご希望の方は、同封のハガキにてお申し込みください。

<お問い合わせ>

咲耶会事務局 TEL & FAX：072-728-2327
E-mail：sakuya@sfs.osaka-u.ac.jp

「特集」阪大外国語学部生の 大阪・関西万博体験記

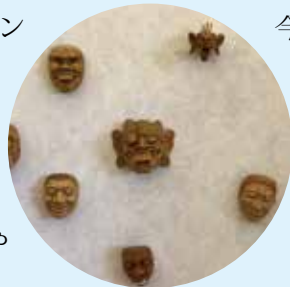


つながる心、広がる世界

スペイン語専攻4年 室井 るう

初めて万博を訪れたのは5月、80歳の祖母を含め家族全員での訪問でした。そこで感じたことをここに綴りたいと思います。

私たちは可能な限りさまざまなパビリオンを見て回りました。建築や空気感、テーマがまるでちがっていましたが、どのパビリオンにも学びと楽しさがありました。私たち家族はそれぞれ、価値観も興味の対象もばらばらです。それでも、工夫された展示や



万博ボランティアを通じた出会い

ロシア語専攻3年 水盛友陽



先日大阪・関西万博に、ボランティアとして参加する機会がありました。今回私が関わらせて頂いたのはコモンズA館にあるキルギスパビリオンで、私自身ロシア語を専攻しているのと、去年の夏にキルギスを旅行したので興味を持ち志願しました。なんといってもボランティアの特権は、裏側で働くスタッフの方々と関わることができる点です。今回、ボランティアとしては私のほかにもう一人、年の近いキルギス人のスタッフがあり、館内の案内やチラシ配りなどをしながら、

食体験などを通じて、お互いの知識や考え方を共有することができました。例えばスペイン館では、私が留学した際に恋した景色や食文化を家族に見せることができました。インドネシア館では、英語やインドネシア語を交えたスタッフの陽気な説明を聞いたあと、家族が「言葉は全部分からへんけど、楽しいな」と笑っているのを見て、確かに言語を超えて伝わるものがあることを知りました。

万博を通じて、家族それぞれがさまざまな出会いや発見をしていたように思います。特に海外に行くことが容易でない祖母にとっては、いつもテレビで見て憧れていた国や、反対に名前も知らなかった国の人々や文化に触れる貴重な体験になったそうです。祖母の目に、世界はどのように映ったのでしょうか。

国と国、人と人とのちがいを認め、その垣根を超えて理解するきっかけが今回の万博にはあると感じました。私は学部での学びの中で特に、縦にも横にも広がる世界の面白さというものを実感しています。

今はスペインパビリオンで働きながら、万博の内側から世界の人々と会うことに喜びを感じています。ぜひこの貴重な機会を活用して、できるだけ多くの人が他国の人々や文化、技術や価値観に出会い、心を動かされる体験ができるといいなと思います。

お互いの言語を教え合ったりしました。なかでも印象的だったのは、キルギス人同士が仲良くなる速さです。お互いが同胞だとわかった瞬間、すぐに「С а л а м !」と声をかけ合い、握手をして打ち解けていく様子に驚きました。気づけば同世代のキルギス人5人に囲まれており、最後は皆で夕食を食べました。日本語とロシア語を織り交ぜながら、お互いの生い立ちや文化について語り合う時間はとても楽しく、言語を学んでいて本当によかったと感じる瞬間でもありました。



デンマークナショナルデー

デンマーク語専攻3年 野澤瑞佳

4月24日、大阪・関西万博にてデンマークのナショナルデーが開催され、デンマーク語専攻一行として式典に参加する機会をいただきました。

式典では、昨年1月に即位されたフレデリック10世国王陛下が登壇され、デンマークと日本の関係を振り返るとともに、他の北欧諸国との連携を通じた未来への取り組みについて語られました。国王陛下のお姿を間近に拝見し、この貴重な機会を大変嬉しく思いました。その後、デンマークの紹介映像が上映され、

名所や自然、自転車で行き交う人々など、デンマークの魅力が詰まった内容に心が躍りました。式典の終盤には、日本とデンマークの演奏家や歌手によるライブパフォーマンスが披露され、国境を越えた文化交流の魅力を肌で感じるひとときとなりました。式典後には、会場を見学される国王陛下と駐日デンマーク大使のお姿も拝見でき、にこやかに話されている様子からは「国民に開かれた王室」と評される一面が垣間見えたように思いました。

北欧5か国による共同パビリオンでは、衣食住やインフラ、エネルギーなどの様々な視点から持続可能な社会に向けた取り組みが紹介されていました。また、展示室中央のスクリーンには北欧の暮らしの様子が映し出されており、自然に囲まれたのどかな様子が印象的でした。

本専攻での学びがこうした機会へと繋がったことを嬉しく思うとともに、デンマークをより身近に感じ、より一層好きになる思い出深い一日となりました。



ハンガリー館での民族音楽の披露 フィリピン館での伝統織物の展示

ことばを超えるパビリオン ～今しかできない世界の表現方法の体験～

フィリピン語専攻3年 中島正裕

大阪・関西万博の会場を歩きながら「世界の表現方法」を全身で体験した。私は、学生団体「a-tune」で3年間活動していたことから、万博開催前から関連イベントに参加する機会が多く、様々なパビリオンへの期待が高まっていた。気づけば、学生ながら高額な通期パスまで購入してしまっていた。

各国のパビリオンでは、言葉だけでなく、映像や音楽、伝統工芸品や建築そのものまでもが



イギリス館での積み木の表現

「メッセージ」として語りかけている。フィリピン館では、フィリピン各地の島々で有名なカラフルな伝統織物を用いた展示で自然との共生を訴え、一方でイギリス館では、おもちゃの積み木という発想からアイディアの積み重ねで地球規模の課題解決を目指すというメッセージが込められていた。他にも、ハンガリー館では、民族音楽が用いられ文化や伝統を維持することの大切さに気づかされた。言葉づかいが丁寧な国もあれば、感情表現がストレートな国もあり、その違いに驚きつつも、それぞれの文化の美しさに触れる体験でもあった。

しかし、表現の手段は違っても、どのパビリオンにも共通していたのは「よりよい世界をつくりたい」という強い思いだと思う。伝え方が違うからこそ、それぞれの国の価値観が際立ち、その多様性の中に同じ目的意識があることに私は感激した。

外国語学部で学ぶ私は、言葉だけでなく、その背景にある文化や価値観も学んでいる。今回の体験は、まさにそれを実感する場であった。



七夕に叶った願い — 大阪大学とザンジバル国立大学の新たな一歩

人文学研究科外国語専攻博士前期課程2年 鈴木七星

日本人にとって7月7日は願いを短冊に込める七夕の日。実はスワヒリ語専攻にとっては、もう1つの重要な意味があります。それは、UNESCOによって定められた「世界スワヒリ語デー」であること。この記念すべき日に、大阪大学とザンジバル国立大学は、大阪・関西万博にて学術交流協定を締結しました。七夕の日に、スワヒリ語専攻創設以来40年の願いが叶ったのです。この日は、スワヒリ語専攻の学生も舞台に立ち、日頃のスワヒリ語とスワヒリ文化の学びを披露しました。特に、スワヒリ語専攻2回生によるNgonjera(スワヒリ語での詩的な掛け合い)では、



七夕の日の「世界スワヒリ語デー」@万博会場

ブルガリアナショナルデーを振り返って

人文学研究科外国語専攻博士前期課程2年 梅原 諒



5月18日、ブルガリアナショナルデーはルメン・ラデフ大統領閣下による挨拶のお言葉とブルガリアの伝統舞踊である「ホロ」や歌、楽器演奏が織りなす華麗なパフォーマンスにより華々しく幕を開きました。セレモニーを通じて日本とブルガリアの友情や、歴史によって育まれたブルガリア文化の豊かさを感じることができ、両国の相互交流への期待に胸を膨らませました。

会場が大いに盛り上がりました。駐日タンザニア大使はじめ、国内外の多くのアフリカ関係者と交流する貴重な機会になりました。

スワヒリ語専攻の学生たちがスワヒリ語を選ぶ理由様々ですが、皆共通しているのは、スワヒリ地域をはじめ、アフリカ大陸の真の姿に目を向けようとしていることだと思います。日本ではいまだにアフリカに対する負のイメージが大きいですが、スワヒリ語専攻の先生方や学生たちは、こうした偏見を払拭し、リアルを伝えていく「責任」とそれに対する「誇り」を持っています。現地の日線で物事を捉えるためには、その地域に深く根付いた言語と文化を学ぶことが不可欠です。スワヒリ語専攻の学生がザンジバル国立大学で生のスワヒリ語に触れ、文化を学び、日本と東アフリカ地域の心の距離をより近づけてくれることを願っています。

夕方からブルガリアパビリオンで実施されたレセプションへは、私たち阪大生をはじめとした関西の大学に通うブルガリア語学習者が招待され、なんと大統領の前でブルガリア語によるスピーチを行うという、非常に貴重な機会を頂戴しました。大統領やマリエタ・アラバジエヴァ駐日大使など多くの方々が見守る中、私たちは各々の持つブルガリアへの愛や情熱をブルガリア語で言葉にして伝えることができました。とても緊張しましたが大統領からお褒めのお言葉をいただき、学生一同ブルガリア語学習への意欲をさらに高めました。

その後パビリオンの建物内では、オンライン上で日本とブルガリアの学生達を繋ぐ催しが行われました。一部の学生はメディアからの取材を受け、その様子は後日ブルガリアで報じられました。今回のナショナルデーでは、日本にブルガリアヨーグルトが広まるきっかけとなった1970年大阪万博から55年の時を経た現在の両国の友好関係の揺るぎなさを感じるとともに、これからのさらなる発展に期待が高まりました。

主催：大阪大学
協力：産経新聞社
後援：司馬遼太郎記念財団
協賛：咲耶会（大阪大学外国語学部・大阪外国語大学同窓会）

テーマ：
「心にうつろうもの、歴史にうつろうもの」

短編映像コンテスト「阪大生、街道をゆく」

講演「歴史小説の可能性」作家 澤田瞳子

総司会：小川真由（アナウンサー、大阪外国語大学国際文化学科日本語専攻卒業）

今年度の第27回司馬遼太郎記念学術講演会は、昨年度に引き続き大阪大学箕面キャンパス大講義室で「心にうつろうもの、歴史にうつろうもの」という題目で2025年2月15日に開催された。キャンパスから徒歩3分の場所に「箕面船場阪大前駅」が開業してアクセスが格段に便利となったことや講演者の人気もあって、会場は大阪外国語大学記念ホールをサテライトとする同時中継も開催され、参加者数は280名に及んだ。主催は大阪大学で、協賛として咲耶会、後援として司馬遼太郎記念財団のご支援を得た。

開会と同時に、司会で大阪外国語大学卒業生の小川真由さんが司馬先生の略歴を紹介された後、司馬先生の作品『微光のなかの宇宙』から現代の仏教の成立に関する部分の朗読があった。

続いて主催者を代表して西尾章治郎大阪大学総長から挨拶があった。講演会に関する概要を紹介しつつ、講演者澤田瞳子氏の業績について紹介があった。

このあと、大阪大学の学生による映像作品コンテスト「阪大生、街道をゆく」が開催された。これは司馬先生の人気シリーズ『街道をゆく』にちなんだもので、4名の学生それぞれが街道にまつわる歴史的な背景や思いを込めた3分ほどの映像を披露するものである。

経済学部1年生のベトナムからの留学生グエン・フォン・リーさんによる「Halcyon- 待兼山散策～歴史と現代をつなぐ道～」は、大阪大学豊中キャンパスの里山である待兼山を中心に、古墳やマチカネワニ化石、大阪大学総合学術博物館などを散策して歴史と現代をつなぐ楽しさが味わえることを伝えた。撮影は携帯電話、ナレーションはAIという現代らしいものであった。

外国語学部4年生 橋本瑠那さんの「今の自分をつくる道」は、自身の出身地である富田林市の寺内町という重要伝統的建造物に指定されている旧家の残る街並みを歩きながら、地区内のさまざまな建物を紹介するものであった。

法学部2年生でモンゴルからの留学生ツォグト・エルデネ・ノミン・エルデネさんは、「大人になって気づく、懐かしさの場所」で、豊中キャンパス近くの石橋商店街の風景を紹介した。



大阪大学総長 西尾章治郎

令和6年度 大阪大学 司馬遼太郎記念学術講演会

日本での生活に慣れない留学生が、商店街のスーパーでアルバイトをすることで様々な人と出会うことの楽しさを伝えた。

経済学部1年生 西野貫太朗さんの「アーケードのある街」は、出身地である富山市内にあるアーケードのある街について紹介した。アーケードは現在の商店街であればどこにでもみられる風景であるが、雪深い地域の人々にとってアーケードのある場所での意味を再考するものであった。



澤田瞳子氏

休憩後、歴史作家澤田瞳子氏のご講演「歴史小説の可能性」があった。澤田氏は同志社大学大学院で奈良仏教史を専攻され、2010年に『孤鷹の天』で小説家としてデビューされ、同作品で中山義秀文学賞を得られてからは、「本屋を選ぶ時代小説大賞」(2012年)、新田次郎文学賞(2013年)、直木三十五賞(2021年)など数々の文学賞を受賞されている。

ご講演で澤田氏は、歴史とは何か、歴史小説家がなぜ歴史を語るのかについて話された。ある人物の周りに起こった出来事は歴史的事実だが、その人物が何を考えたか、あるいはある出来事と他の出来事の合間に何が起こったかについて脚色をつけるのが歴史小説であるという。過去に一度、澤田氏が小説の主人公がどこかで勤めていたという脚色をつけたところ、それがウィキペディアで事実であるかのように説明されたという。作家自身はそれが創作と知っていても、作品が広まるとその脚色が事実のように広まるというご経験は、非常に興味深かった。

歴史的な実在が時代によってうつろうことは実はよく起こることである。佐々木小次郎が若々しく美しく描かれたのは吉川英治が最初だったが、宮本武蔵と対決したとき小次郎は高齢であった。また額田王が美しい女性であるという描写も、万葉集には彼女の実像について何ら記述がないにもかかわらず、彼女の歌が大海人皇子と中大兄皇子の間での恋愛関係にあったという推測から、美人像が作られた。さらに藤原道長の栄華を極めたとして知られる歌「この世をばわが世とぞ思ふ望月の欠けたることもなしと思へば」も、藤原実資の文献にのみ記されていて、他の歌集には収載されていない。もしこの実資の文献に道長の歌が紹介されていなかったら、道長のイメージは全く別なものになっていたかもしれない。淀君についても、江戸初期にはほとんどその名前が出てこないが、幕末に書かれた太閤記によって、徳川家に対立する一族を貶めるために気の強い魔性の女という女性像が作られたといわれる。このように、書かれたものがすべて歴史的事実を述べているかという点も注意しなければならない。

すると、わたしたちが知っている歴史は何なのか、という問題に突き当たるのである。

澤田氏は菅原道真を描いたとき、道真が大宰府に送られたことが島流しのように受け取られがちだが、当時の大宰府は外国からの文物が流入した華やかな町であった、という描き方によって、道真のイメージを変えようとされた。こうした、歴史的事実と創造的な部分との橋渡的な仕事が歴史小説の意義だと考えておられるとのことであった。

続いて、澤田氏と大阪大学人文学研究科教授で中近世絵画を専門とする門脇むつみ氏との対談が行われ、人文学研究科外国学専攻教授の古谷大輔氏がファシリテーターを務めた。

冒頭は作品のタイトルについての秘話が明かされ、『星落ちて、なお』の「なお」の部分が実は「また」などの別の語であったが、編集者との話し合いで決まったという。



対談では、歴史小説は家を作ることに似ているとし、歴史的事実で柱や軒を作るが、足りない部分を創造によって家の壁を塗るように形作るのが歴史小説で、その歴史的事実は歴史学者の営為によって入手できる情報なので、歴史研究が歴史小説にとって大変重要な情報源であることを強調された。

澤田氏は思い込みで過去を語らないということに留意しておられ、例えば昔は女性がよく働いていたという事実があるにも関わらず、現在の感覚では過去に女性は働く機会が少なかったかのように思われがちになるので注意しているという。それは人物像を描くとき、なぜ草履でなく下駄を履いているのか、雨天ではなかったかなど、登場人物がなぜこの服を着ているか、という点などにも留意して描いておられるとのことであった。

話題は書籍の表紙におよび、画家に関する小説であっても、画家の作品のどの部分を使うかについての苦労も紹介された。

また、なぜ歴史小説を書くかという問いには、自分自身が知りたいと思う気持ち動機になっているとのことであった。そのうえで歴史的事実に加味することで人物像が完成すると、達成感が得られるとのことであった。



西尾総長から学生のビデオ作品に対する講評をいただき、参加者による投票の結果、優勝は橋本さん、準優勝は西野さんであった。受賞者2名からは挨拶があった。



最後に、大内一咲耶会会長よりご挨拶をいただいて講演会は幕を閉じた。盛況のうちに講演会はお開きとなった。

※総長の肩書は講演会開催時のものです。
(文責：山根 聡) (写真提供：大阪大学共創推進部社会連携課)

「令和7年度司馬遼太郎記念学術講演会」のお知らせ

令和8年1月12日(月・祝) 13:00～16:00、大阪大学豊中キャンパス 大学会館の講堂にて、登録制による対面方式で開催いたします。当日は、司馬遼太郎を偲んで開催された令和6年度の菜の花忌シンポジウムにも登壇された釈徹宗先生(日本の仏教僧、宗教学者)をお招きして、ご講演いただくとともに、対談企画や学生企画が行われる予定です。

※詳細は、後日、大阪大学または咲耶会のホームページに掲載いたします。

人生最高に充実した6か月のチェコ留学

外国語学部外国語学科
トルコ語専攻3年
大中礼士

友人を見つけて彼に毎日トルコ語日記を書いてもらうことでトルコ語の語彙力を伸ばしたり、独り言を英語で言うことやJapan Community Houseという日本文化を学べる所では折り紙や書道などの日本文化を英語で説明し、日本語を話せる人とでも英語を使ったり...といったことに努めました。異文化コミュニケーションの授業でも“意見がある人はいる?”と聞かれたら必ず発言するように取り組み、同じ授業の友達と遊ぶなど輪を広げました。そうして1日1日の小さな努力によって英語のスピーキングにもトルコ語を使うことにも抵抗がなくなり、コミュニケーションを取ることが大好きになりました。

日本では実家暮らしだったため、料理も全然上手くいかなかったスタートでしたが、作り続けることで、徐々に料理が好きになり、寮の友達に日本料理を振る舞うパーティを開くまでになりました。チェコではアジア料理が高いので日本から持ってきたり、日本の友達とシェアしたりしていました。

プラハの冬は寒く、お店も早く閉まりますが、いつ見ても飽きることはないほど街全体が綺麗で、流石世界遺産の街だな、と感じさせられます。英語もほどよく通じます。メトロの雰囲気も日本と同じで静かな印象です。24時間ずっとバスとトラムが運行しているため寮に何時になっても帰られることも利点の一つです。レストランは日本より少し高いくらいですがヨーロッパではかなり安い方に分類されるそうです。ヨーロッパは学割が多く場で適用され、電車賃も半額になり、多くのヨーロッパの博物館や美術館が無料で入れます。旅行が好きで、交通費が安いとなると、私の旅欲は押さえられません笑。半年間でヨーロッパ26か国を訪問しました。常に計画を立てて、安く行く方法やホステル

を探し、できるだけ多くの場所に行くことに努めました。卒論で扱うテーマのバルカン諸国にも訪問して情報を集めることができたのも貴重な経験でした。

日本では一人旅をしたことがなかった自分ですが、この留学と多くの旅行を経て、手前味噌ではございますが、度胸と計画力と対応力、コミュニケーション能力が格段に身についたと思います。



町全体が世界遺産のチェスキークルムロフ。おとぎ話のように可愛い町でプラハから日帰りで行ける。

私はトルコ語専攻では異例のチェコのプラハ・カレル大学に半年間留学しました。過去外国語学部から部局間でこの大学に行った事例がなかったため、全ての準備において、雲を掴むような感じで情報集めやビザの準備などに四苦八苦しました。その分色々なSNSや、チェコ人の友達や大使館職員を頼り、準備は順調に進めていくことが出来ました。しかし、留学の二ヶ月前に気胸になり、治りが悪かったため、飛行機を出発予定の二週間を切った頃に急遽変更するといった、慌ただしさかつ先の見えない不安定さもありました。これから留学を考えている人に見えることは、とにかく、念を入れても入れすぎることはないということだと思います。準備は怠らないようにしましょう。計画のズレも想定した予備計画を立てておくことをお勧めします。

さて他の人より遥かに遅れてのスタートとなったチェコ留学でしたが、たった半年、されど半年。私はこの半年を人生で最も有意義な6か月に出来たと感じています。最初は苦難の連続でした。チェコ人と共に学ぶ中で彼らのリスニングとスピーキングの上手さにおける、自身との大きな乖離にあっけにとられたトルコ語の授業や、まわりのErasmus(ヨーロッパ圏内の大学での留学制度)の人達の英語の旨さ、発言の多さに自信をなくした異文化コミュニケーションの授業など。それでもそこで落ち込んだままにはしたくなかったので色々な小さな工夫をしました。トルコ人の



それぞれ違う国に行ったトルコ語専攻留学メンバーがブダペストで集合し国会議事堂前で記念撮影。



プラハの旧市庁舎から。たくさんのクリスマスマーケットの屋台と賑わう人々が見える。

驚きやワクワクに満ちたノルウェー留学

外国語学部外国語学科
ロシア語専攻3年
近 志門

与えるような出会いもあった。クリスマスにはノルウェー人の友人の実家に招かれ、伝統的な料理をもちそうになった。フランス人の友人とはともに旅をし、現地の人々しか知らないような文化や知識を教わるなど、かけがえのない経験が数多くあった。

加えて、日常の何気ない瞬間が、今となっては最も大切な思い出となっている。友人と昼食や夕食を共にし、深夜まで語り合い、カフェで雑談し、街をぶらぶら歩いたりスポーツを楽しんだりといった時間は、一見些細なものに思えるかもしれない。しかし、こうした日常こそが留学生生活を豊かにし、振り返るたびに愛おしさを感じさせてくれるものであった。ともに時間を過ごした友人たちに深く感謝している。

また、オスロ発祥のカフェ「フグレン」でのボランティア活動にも参加する機会があった。東京や福岡にも店舗を展開しているこのカフェで、私はたい焼きを提供するイベントに携わり、レジ対応やたい焼き作りなどを体験した。まるでワーキングホリデーのような貴重な経験であり、多くの来場者と交流することができた。その中で印象的だったのは、想像以上に多くのノルウェー人が日本文化に親しみを持っていたことである。たい焼きに対する興味や「おいしい」と言ってもらえたことは、心から嬉しかった。

学問に限らず、日本文化の代表として海外で何かを伝えるという機会に恵まれたことは、大きな誇りであった。海外において日本人は希少な存在であり、

その中で文化を発信することは、ある種の責任を伴う行為でもある。ゆえに、日本人留学生という存在は非常に価値があり、これから留学を志す人々には、ぜひこのような喜びややりがいも体験してほしいと願っている。



ノルウェーはハイキング天国！

私は2024年度大阪大学交換留学生として約1年間、ノルウェーのオスロ大学に留学をした。皆さんはまず、私がロシア語を専攻しているにもかかわらず、なぜノルウェーを留学先にしたのかという疑問を持たれるかもしれない。一見、矛盾した選択に思えるが、両国は実は深い関係を持っている。私がロシア語専攻として大学に入学する直前にロシアによるウクライナ侵攻が発生し、それをきっかけに、元々関心のあった国際政治への興味が一層深まった。戦後長らく続いてきた欧州の安全保障体制が大きな転換点を迎えつつあるという認識をニュースなどを通じて強く持つようになり、国際秩序の変化を身近に感じたいと考え、欧州留学を志すようになった。

なかでもノルウェーは、ロシアと国境を接するNATO加盟国であり、ウクライナ支援にも積極的であることから、私にとって最適な留学先と考えた。実際にノルウェーに渡り、安全保障や国際政治に関する授業を受ける中で、ウクライナ侵攻が頻繁に取り上げられていたことは印象的であった。たとえば「欧州は今後、防衛により力を入れるべきか」というディスカッションでは、NATOの機能や各国の立場について多様な意見が交わされ、日本では得難い貴重な経験となった。また、徴兵制度に関しては、募集人数の増加など、国境を接する国としての社会的な緊張感が根底に存在していることを実感した。

学問以外の面でも、私の留学生活は「人」との出会いに支えられていた。ノルウェーでの生活では、多くの人々との出会いがあった。中には一度きりの出会いで終わったものもあれば、その後の人生に大きな影響を



ノルウェー人に大好評いただいた日本のたい焼き。



留学先での、ささやかだけれどかけがえのない日常。

私のキャリアレポート



宇都宮市講演 2018 年

国際交通安全学会シンポジウム 2022 年

30 年の欧州滞在を経て、2009 年日本に一時帰国した。それからの 5 年間は、私のその後の方向性に新しい道を開いてくれた。まず欧州での会議通訳、また「日仏異文化マネジメント」研修講師の仕事の集積として、「本当のフランスがわかる本」を出版した。異文化を背景にした誤解と葛藤の多くの場面に遭遇してきて、日本の駐在員や彼等とチームを組むフランス人とのコミュニケーションをサポートしたいとの思いであった。

また地方都市の過疎化を目の前にして、フランスの「元気で個性のある、住んで楽しいまち」には公共交通が充実していることを、専門外ではあるが伝えてみたいと思った。2006 年から京都大学の「環境負荷低減に向けた公共交通を主体としたパッケージ型交通施策に関する提言」プロジェクトに 3 年間参加した経験を元に執筆した「ストラスブールのまちづくり」が、2012 年土木学会出版文化賞に選ばれた。これに一番驚いたのは私で、日本の学会は決して閉鎖的ではないことに、むしろ感動した。それ以後は、フランス都市政策の調査研究、執筆、講演を続け、2014 年にフランスに戻ってから、二国間で活動が続けていた。

2019 年にミラノに転居し、コロナがやってきた。

京都大学の教授から「日本人が海外に出られない今こそ発信すべき」と励まされ、4 冊の著書をまとめた博士論文執筆も勧められ、京都大学大学院工学部博士号を 2025 年に取得した。2021 年度秋に、日本都市計画学会での当方の講演を聞かれた編集者からの依頼で書いた「フランスのウォーカブルシティ」は、2024 年度の「国際交通安全学会賞」、「咲耶大賞」にも選ばれた。テーマはフランスの都市政策だが、その背景となる政治や自治体の機能と仕組み、都市への価値観、合意形成を通してみられる国民性などに深く言及できたのは、外大フランス語科を卒業した語学の基礎力のおかげだと考えている。

パリーマルセイユーロンドンー東京ーストラスブールー沖縄ーアンジェーミラノーマルセイユ（今ここ）と転居の多い生活を送ってきたが、ふりかえてみて、若い時には



国交省の環境セミナー（リモート講演）2024 年

3 人の子育てが中心で就労時間が柔軟な通訳業を選んだ。子育ては長い人生から見れば短い時間で、子育て後のキャリアの展開も十分に可能であるし、また成長した子供たちがもたらす情報や交流はかけがいのないものでもある。またフランスは、年齢にしばられずそれぞれが個性を発揮できる国でもある。私は 40 代でボートやダイビングを初め、50 代で本を書き始め、60 代で慣れ親しんだフランスからイタリアに移住し、69 歳で博士論文を書き上げた。だから後輩たちもキャリア、家族、趣味などにバランスを持って対応することを勧める。そして与えられた条件の元で直近の仕事を丁寧に仕上げるのが、次のステップにつながると思う。

高齢化社会を迎え、祖国日本はかつての活力を失ったかのように報道されるが、それでも日本は豊かな歴史と文化に恵まれ、安全・清潔で利便性が高く、超機能的な世界に誇れる素晴らしい都市が多い。食事は美味しくて、何より人々が誠実で親切だ。海外に住んでいて、誇れる祖国があることは本当にありがたいと常々感じている。フランスと日本は世界の状況が不安定な中で、豊かな生活が送れる民度の高い都市生活を提供してくれる。その二つの祖国の素晴らしい

さを、それぞれの国で発信できるのは光栄である。これからも環境保全と社会の包摂性を大切にしたいフランスの都市政策を日本に紹介し、今後の日本社会の在り方への何らかの参考として頂き、日本の後輩たちにも将来に明るい希望を持って頂けたら幸いである。



プロフィール
1978 年大阪外国語大学在学中にロータリー財団奨学生として、フランスに初渡航。住友電気工業に勤務後、再渡仏し「外国人対象フランス語教諭資格」を取得。1982 年からフランスを中心に欧州各地で会議通訳。2005 年に「日仏異文化マネジメント研修」講師資格を取得し、コンサルタント活動。2011 年「本当のフランスがわかる本」出版。2012 年に「ストラスブールのまちづくり」土木学会出版文化賞受賞。現在はフランスの都市政策に関する講演、執筆、調査・研究活動のコーディネートを。著書に、「フランスの地方都市にはなぜシャッター通りがないのか」「フランスではなぜ子育て世代が地方に移住するのか」「フランスのウォーカブルシティ」（咲耶出版大賞・国際交通安全学会賞）。京都大学・工学博士。

Career Report 1

フランス都市計画政策研究者
ヴァンソン藤井由実（大 F26）

私のキャリアレポート



私は 1976 年春、大阪外国語大学イスパニア語科中退を決意し、外務省にスペイン語の専門職として入省しました。人前で話すのが苦手で、ましてや外国人に声掛けすらできなかった私が外交官になってしまったのです。

現役外交官時代には、現在の明仁上皇陛下のスペイン語通訳を足掛け 6 年間の長きに亘り務めることになった私ですが、入省前は外国人とのコミュニケーションにも臆病、正直大柄で毛深い外国人は苦手でした。京都生まれの京都市育ち、大学も自宅から通っていたため、新幹線にも飛行機にも乗ったことがなく、外国はおろか東京すら知らなかった私が外交官を志したのは、合気道部の先輩の外務省合格に刺激され、小さい頃から抱いていた未知の外国への憧れ、新しい世界への好奇心に掻き立てられたからでした。

大学時代に外国人と接したといえば、客員教授の巨漢アルバレス先生と日本人とは全く違う風貌の留学生たちだけ。外交官試験にはどうにか合格したものの、私の語学力は実務で全く通用しません。自分の不甲斐なさに、合格の喜びは一転、正に天国から地獄の思いでした。外国人からの電話の対応は恐怖そのもの、英語やスペイン語はもちろんのこと、日本語の公文書すら満足以書けなかった私のスタートは、想像以上に厳しいものでした。

私の苦難は続きます。報告書や公電案作成の遅さに上司から毎日のように怒鳴られ、書き直し、浄書の日々でした。昼飯も喉を通らず、起案が間に合わず、昼飯抜きの日でも妻の作ってくれる手料理が待っていました。スペイン語での電話対応、新聞の速読、会談・会議記録作成、来客通訳術等々、できる限り高望みしないゴールセッティングを少しづつ繰り返しました。不思議ですが、語学力というのは、続けていると突如、急激にレベルアップする瞬間が何度か訪れます。

続けていると転機は必ず訪れます。入省から 9 年、在外勤務 3 カ国連続転勤、計 7 年に及ぶ在外勤務を終えるころ、書き損じた公電案や公文書の山がそれこそ身長の 2 ～ 3 倍にも積み上がっていたでしょう。ようやく



ビッグバンから 138 億年という途方もない時間を経て、奇跡的に命を繋いで来た 80 億人の地球人です。争いではなく、みんなで仲良く、それぞれの国同士も同じ地球に暮らす仲間として、一緒に地球の環境を守りながら、共に生きることが、最高の幸せなのではないでしょうか。今年 73 歳になる私の世界は、地球に留まらず、今は宇宙へと広がっていくようです。



プロフィール
1976 年、外務省中級職員採用試験（スペイン語）合格、入省。外務省では 1996-2001 年、天皇陛下のスペイン語通訳、その後ウルグアイ、ボリビア、キューバ、ベネズエラの臨時代理大使。退職後は、東京都や東京オリンピック・パラリンピック等で日英西多言語ボランティアとして活動、多言語学習支援ブログ「You can 2020」を立ち上げ。2023 年、『ノンキャリア外交官 万事塞翁が馬の半生記 まさか、語学苦手、外国人恐怖症の私が!』（文芸社）を出版。同年、咲耶会特別会員に。

人間万事塞翁が馬の半生記

元外交官 **中村一博**（特別会員大 S25）

日本語力の向上と共にリスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの 4 技能がどうにか仕事で使えるレベルになっていたのです。

同時に、様々な公私にわたる多くの人々との交流を通じて、私はいつしか「外国人大好き人間」へと変貌を遂げていました。まさに「語学が私を変身させてくれた」のでした。

私の全ての始まりは、大阪外国語大学での未知のスペイン語との出会いでした。そこから私の世界は、京都から東京、そして世界へと広がり、世界中の外交官との意見交換や情報収集、経済技術協力、文化広報活動、在留邦人や日系人社会との関わりなどにより、一つの確信が生まれました。

それは、「すべての国の人々にとって大切なのは、お互いを理解しようと努力すること、そして一人ひとりが、すべての人と心を通わせられるようになることだ」という思いです。今ほど、地球をもっと平和にする方法をみんなで考えていくべき時ではないのではないのでしょうか。



大阪外大奉職時の私

大阪大学名誉教授
元大阪大学理事・副学長

武田佐知子

『菜の花』36号に寄稿を頼まれました。今年1月の新年宮中講書始の儀に、御進講役を務めさせて戴いたことがお目にとり、お声がけ戴いたものと思います。直前に、10月に開催される咲耶会の東京支部総会で講演を依頼されたこともあり、『菜の花』には私の外大着任当時のことを書かせていただくことにしました。

日本古代史が専門の私は、大阪外国語大学の教員として唯一人、外国語が出来なくても良しとして採用された教員でした。「外国語大好き!」の学生達が、念願の海外へ飛び出して行った時、そこでまず訊ねられるのは、現地に関する知識ではなく、日本についての知見でした。学生達は日本のことを全く知らないことを思い知らされて帰国したと、異口同音に言います。大阪外大が日本文化担当教員の採用を決めたのは、そんな学生達への親心であったと、後から聞きました。

当時東京在住だった私は、女性が大学教員として就職するなどとても難しい時代でしたから、たとえ地の果てでも!と思い詰め、大阪へ応募の書類を出しました。指導教授だった竹内理三先生に反対されるかと思ったら、「なに、大阪は近いからかまやせんよ!」とお許しを戴いて、公募に応じることができました。

1985年4月、36歳の時、念願叶って大阪外大へ着任しましたが、丁度夫はアメリカの大学に客員教授として赴任しており、当時小学4年の娘と私は、夏休みに入ってから渡米しました。まず娘を小学校に体験入学させ、言葉がわからないストレスを乗り越えられるかを探りました。しかし1ヶ月も経たないうちに英語で寝言を言い始め、杞憂でした。大学の秋学期が始まる前に私は帰国せねばならず、娘が大阪の小学校に転校するか、このままアメリカの小学校に通い続けるかの選択をしなければなりません。意を決して娘に聞いてみました。

「お母さん、悪いけど一人で日本へ帰って!清香は今、とっても良い経験をしているの。」と言う返事が返ってきました。あっぱれわが娘!

というわけで、9月以降一年間は大阪で気ままな独身女教師生活を満喫しました。帰国後の娘は、結局通っていた東京の小学校を離れたくないとの意向で、夫と一緒に私の実家に居を移して住み、私は大阪での独身生活を継続して、週末に東京の家に戻る生活が始まりました。

次の関門は、「夫婦別姓」を大学側に認めて貰うことでした。あの頃、私達若い女性は、思いを寄せる彼氏の姓を、自分の名前の上の姓に重ねて、ひそかに結婚に夢をはせたものでした。姓の変更こそが愛の成就の証明であった、そんな時代でした。女性が生まれた時に生得的に得た名前を、婚姻によって突然変えてしまうことの理不尽さに、その頃は気が付かない少女だったのです。

そんな私でも、最初の論文は旧姓で発表しました。最初の著書も旧姓で出しました。指導教授からは、なぜと問われましたが、「姓を変えると、もし離婚することになった時、業績がそこで断絶してしまうから」と答えました。

婚姻は夫と妻の姓のどちらかを選んで、夫婦同一の姓のもとで結婚生活を始めるのが通例でした。ただし婚姻のうち95%が、夫の姓を名乗ることが慣例で、今に至るまで妻の姓を名乗る数は、あまり増加していません。

私も結婚する時、一応夫となるべき人に聞いてみました。「姓はどっちにする?武田でも良いけど?」。答えて曰く、「僕の父親がなんて言うかな?」それっきり沙汰止みになったことを思い出します。

では夫婦が離婚を余儀なくされるとどうなるか?離婚後も婚姻時の氏を名乗り続けることができる「婚氏統称」の制度へ法改正が行われたのは、やっと1976年の民法改正の時です。この時初めて、婚姻してから、新姓を使って社会に通用していた女性が、離婚後も別れた夫の姓を使用し続けることが認められました。離婚したということは、当然「婚氏統称」を潔しとしない感情があったことを示すと思いますが、にもかかわらず、いったん姓を変えてしまった女性は、社会的活躍の証左として「婚氏統称」に甘んじなければならなかったといえましょ。

私は1985年に大阪外国語大学外国語学部助教授に採用されましたが、おそらく国立大学で旧姓使用を始めた最初の、国立大学教員ではなかったかと思います。採用の際に提出した履歴書は、大人しく戸籍名で書きました。主任教授だった廣実源太郎先生に、なぜ旧姓にこだわるのかと問われた時、当時ベストセラーだった野末陳平の、『姓名判断』（講談社カッパブックス）に、「武田佐知子」という姓名は、女性が持てば最強の画数だとあったけれど、戸籍名の姓では、それがかなわないからと答えました。教授はそれ以降、私の主張を黙認してくれました。

私は一般教養を担当した最初の授業で、まず黒板の真ん中に武田佐知子と書きました。「講義要綱に載っているのは戸籍名だけれど、私は武田佐知子と呼んで欲しい」という内容です。そして日本では、古代から明治時代まで、結婚によって、姓を変える風習はなかった。奈良時代の家族構成を記した正倉院に残された戸籍には、戸主とその妻は別姓のまま記載されています。後の時代も、源頼朝の妻は北条政子だし、足利義政の妻は日野富子だったことなどを示し、明治時代までは結婚しても夫婦の姓の変更はなかったことを話しました。夫婦同姓が原則になったのは、たかだか明治以降百年のことなのです。

昨今、働く女性が急激にふえ、旧姓で活躍している女性達が増えましたが、いまだ夫婦別姓は、法制化されていません。なんともう40年が経過しています。やっとこの秋の国会で、正式に取り上げられようとしています。何度も裏切られた思いを重ねてきましたが、今度こそという思いを新たにしています。世論の半数が夫婦別姓を支持しているのに、昨今の政局をみても、それもあまり期待の持てることではないかもしれないと思っています。



ベトナム語専攻の今

清水政明

大阪大学人文学研究科外国語専攻 教授・専攻長
外国語学部 ベトナム語専攻 代表

ベトナム語専攻OB・OGの皆さま、大阪外大・阪大外国語学部OB・OGの皆さま、ベトナム語専攻でベトナム語を教えつつ、今年4月より大学院人文学研究科外国語専攻長という大役を仰せつかっております清水政明です。前回この記事を書かせていただいたのが2013年でしたので、かれこれ10年以上が経ちましたが、皆さまには、その後お変わりございませんでしょうか?

さて、今や在日外国人国別人数が第2位という、日本での存在感をますます増すベトナムですが、我々ベトナム語専攻もその勢いに便乗しつつ、関西のみならず全国に活躍の場を広げております。特に大阪では、昨年7月に「さまざまな視点で世界を見る～ベトナム編」というイベントを在大阪ベトナム社会主義総領事館と共同で開催し、Ngo Trinh Ha 総領事に開会のご挨拶をいただきました。実はその前日、前共産党書記長 Nguyen Phu Trong 氏が急逝されるという悲報が飛び込んできたのですが、国中が喪に服す中、総領事は予定通り阪大箕面キャンパスに駆けつけられ、参加者全員とともに故人に黙祷を捧げられ、忘れられない思い出となりました。一方今年2月には、毎年恒例のベトナム語劇を、なんと堺市のベトナム総領事館で行うという機会に恵まれました!演じた2年生は、自分達のベトナム語がどの程度通用するのか不安を抱きつつ臨んだのですが、ふたを開けてみると不安も吹っ飛ばすほどの大盛り上がりで、勢い余って観客の女性が舞台に飛び入り参加するという大爆笑のハプニングもあり!これまたみんなにとっては忘れ難い思い出となりました。

さて、早いもので2年後にはわがベトナム語専攻が創設50周年を迎えます!有志のOB・OGと少しずつその準備を始めているところですが、大阪外国語大学ベトナム語学科、大阪大学外国語学部ベトナム語専攻卒業生、大学院修了者、ならびに旧教員の皆さまには、2年後の記念パーティーには是非ご参加いただきたく、何卒ご協力のほど宜しくお願い申し上げます!



ハンガリー語専攻の今

岡本真理

大阪大学人文学研究科外国語専攻 教授
外国語学部 ハンガリー語専攻 代表

「2025年はハンガリー・イヤー?」

ハンガリー語専攻は、本学外国語学部25言語の中で一番遅く誕生した専攻語とはいえ、今年ではや32年を迎える。しかも、私たちにとって今年はいろんな意味で特別な年であり、箕面キャンパスがちょっとした「ハンガリー・イヤー」になろうとしている。

1つめは、今年開催している大阪・関西万博の余波(?)である。万博には世界150を超える国と地域がパビリオンなどを出しているのだから、ハンガリーだけの問題ではないはずなのだが、どうしたことかこの万博に合わせてこの春以来、国営テレビの取材から公文書館や大学の研究者まで本専攻にはハンガリーからのお客さんが絶えず、学生たちはなにかと講演会に引っ張り出されて、授業の進度も遅れがちである。さらに何年ものぼしのぼしになっていた在大阪領事館も本格始動した。そして極めつけは5月にハンガリーの大統領がハンガリー語専攻の学生たちと交流したいと箕面キャンパスを訪問されたのである。入学間もない1年生はハンガリー民謡を暗唱し、2年生は専攻紹介のプレゼン、上級生はスピーチでハンガリー留学の成果を披露した。大統領夫妻はじめ30人近い代表团はこれに大感激し、学生、教員、そして事務方も途中投げたいたくなるほど大変だった準備も、終わってみればいい経験となった。

2つめは、7月に予定している外国語学部主催市民向けイベント「さまざまな視点で世界を見る」で、第3回の今年はハンガリー文化を紹介する。各分野で活躍する卒業生たちや音楽家を招いての講演会、卒業生らによるハンガリーグッズ販売。夕方からは民族舞踊をみんなで踊ったり、ハンガリー料理グヤーシュやワインが楽しめる。また、ハンガリー大使館のシェフがポガーチャ(焼き菓子)を500個も焼いてふるまってくれる予定である。ヨーロッパでもマイナーな国ハンガリーに光が当たる機会は少ないが、今年はそんなわけで何かとハンガリーの話題が箕面キャンパスを賑わせているのはちょっと嬉しいことである。



ハンガリー民謡を歌ってシュヨク・ハンガリー大統領を歓迎するハンガリー語専攻1年生たち。

外国語を「使う」喜びと異文化への扉

2025 年度語劇祭実行委員会委員長
外国語学部アラビア語専攻 2 年
石原月姫乃

2025 年度語劇祭実行委員長を務めさ
せていただいております、アラビア
語専攻 2 年の石原月姫乃です。

語劇祭は、その名の通り日本語
ではなく、外国語で演劇を行う行
事です。学生にとって、言語を「使
う」楽しさを体感できる貴重な機会
となっています。普段は教科書と睨め
っこして文法や語彙を覚えることが多い中で、語劇祭ではひ
たすら話すことに重きを置くため、言葉を声に出して伝える
面白さに気づくことができます。

私自身、昨年度役者を経験し、感情を込めてアラビア語の
セリフを発することで、言語の魅力をより深く感じました。登
場人物同士の会話のテンポや、韻を踏んだセリフ、思わず笑っ
てしまうジョークに感動したり、「自分がこの言語で話している」
という実感が自信につながったりもしました。

さらに、語劇祭では言語そのものに加えて、それを使う人々
の暮らしや価値観に目を向ける機会にもなります。登場人物
の考え方を日本人の視点だけで捉えないように、その国の文
化的・社会的背景を想像しながら演じることを心がけています。
例えば、家族内での立場や振る舞い方にも、日本とは違う価
値観が反映されています。また、裏方は、そうした場面に合
わせた音響や照明を工夫し、舞台全体を支えています。こう
したことを考えながら取り組むのは簡単ではありませんが、だ
からこそ外国語で劇をする意味があるのだと感じています。

実際に観劇にお越しいただく皆様にも、言語の美しさに気
づき、さまざまな国に親しみを感じていただく機会になれば
幸いです。また、劇中の衣装や小道具には、現地で購入した
ものや、それに近いものを工夫して集めたものも多くあります
ので、ぜひ細部にもご注目ください。

語劇祭を通して、外国語や文化の魅力をより多くの方に届け
られるよう、語劇サークル、実行委員会一同取り組んでまい
ります。また、大阪大学や世界のことに、少しでもアンテナを
張っていただけたら嬉しいです。皆様のご観劇を心よりお待ち
しております。



箕面を代表するお祭りを目指して

大阪大学夏まつり実行委員会委員長
法学部法学科 3 年
野木成歩

大阪大学夏まつり実行委員会委員長
の野木成歩と申します。はじめに、
本年度も皆様のご協力のおかげで
6 月 28 日 (土) に大阪大学箕面
キャンパスにて第 43 回大阪大学
夏まつりを無事開催することができ
ましたことを深く感謝申し上げます。

「ひととまちのレールをつなぐ」という
テーマのもと、前回の累計来場者数 (約 6,000 人) をはるか
に上回る 10,000 人を目標累計来場者数と設定し、実行委員
一同、準備に取り組んでまいりました。当日は天候にも恵まれ、
累計来場者数は 10,836 人を記録し、目標を達成することが
できました。文句一つ言わず最後まで私についてきてくれた実
行委員や私の夏まつりへの想いを聞き入れ、企画に協力してく
ださった関係者の皆様には感謝してもしきれません。

そもそも私が委員長を志した理由は「夏まつりを単なる学祭
ではなく地域のお祭りにしたい」という思いがあったからです。
夏まつりは旧大阪外国語大学の時代から続く、長い歴史と伝
統を誇るお祭りです。現在のキャンパスに移転して以来、か
つてのキャンパスに見られた「大阪外大の遺産」は目に見える
形では少なくなっていました。しかしその分、私たちには
この伝統を受け継ぎ、卒業生や関係者の心の拠り所を守り続
ける責任があると強く感じています。ただし、伝統を守るだけ
ではなく、新たな文化を創り出す「革新」も大切だと考えてい
ます。そのため私は、「学生だけの学祭」ではなく、「地域のお
祭り」としても愛されるイベントを目指し、学外の企業や団体、
地域の皆さまのご協力をいただきながら、地域全体を巻き込
んだ企画に取り組んできました。

次年度以降、後輩たちが夏まつりをさらに発展させ、地域
に愛されるイベントにしていくことを強く願っております。皆様
にもぜひとも引き続き倍旧のご厚情を賜りたく、切にお願い申
し上げます。

◆ 告知板 ◆

◆ 受勲者・受賞者のご披露

● 令和6年秋の叙勲 瑞宝中綬章

伊藤太吾氏 (大阪大学名誉教授)
岩間正邦氏 (大阪大学名誉教授) (大 F14)

● 大同生命地域研究賞 (2024 年度 第 39 回)

赤木攻氏 (元大阪外国語大学学長 大阪外国語大学名誉教授) (大 TV15)
タイ日大辞典の編纂等、タイ語の教育と普及に努めるのみならず、タイの政
治社会について、フィールド調査に基づく実証的な研究を行い、タイ学とも
呼ぶべき総合的な地域研究を推進してきた功績により授与された。



大阪大学人文学研究科 外国学専攻
ウルドゥー語 特任講師
ZIA UI HASSAN
ズィヤー ウル ハ サ ン
1989 年来、私はウルドゥー文学の教育と研究
に従事してまいりました。昨年、パキスタンで
最も歴史のあるパンジャブ大学を退官し大
阪大学で教育と研究を続けております。専門はウルドゥー文学批評
ですが、それ以外にもウルドゥー詩に関する研究も行ってきました。
この度大阪大学で日本人学生にウルドゥー語とその文学を教えるこ
とができるのは、自身の教育歴に新たな経験を加えることとなり、
大変嬉しく思っております。学生が学びやすい環境を作っていきたい
と思います。



大阪大学人文学研究科 外国学専攻
スウェーデン語 特任講師
HASHEMI SAVA
ハ シ ェ ミ サーヴァ
Hej!
My name is Sava Hashemi and I teach
Swedish at The University of Osaka. I was
born in Stockholm, Sweden. My educational
background is connected to Swedish language and literature. It
is the first time that I am in Japan and my experience has been
great so far! Japan is an amazing country and there is a big
interest in Sweden and Swedish culture. I believe that my time at
The University of Osaka will develop my understanding regarding
Swedish learning and teaching in an international environment.
Finally, I hope to receive new perspectives connected to possible
research areas.
Kind regards, Sava Hashemi



大阪大学人文学研究科 外国学専攻
フランス語 特任講師
DUJO Daniel
デュジョ ダニエル
Bonjour ! My name is Daniel Dujo, I am a
lecturer of French at Osaka University since
April 2025. After teaching French for 8 years
in Osaka and Kyoto (2002-2009), I worked
in various French Higher Education Institutions during many
years. I am now back in Osaka to share my (nearly!) 25 years of
experience and multicultural knowledge. I mainly teach French
Culture and Writing classes. Bienvenue en France !



大阪大学人文学研究科 外国学専攻
ベトナム語 特任講師
NGUYEN THI AI TIEN
グ エ ン ティ アイティエン
大学院時代を過ごした母校に、本年 4 月にベ
トナム語専攻の特任教員として迎えていただき、
大変嬉しく存じます。少しでも恩師に恩返しを
させて頂けるように、ベトナム語教育と研究に励んでまいりたいと存
じます。グローバル時代の異文化コミュニケーションに少しでも役に
立つために、学生と共に頑張ります。

● 新村出賞 (2024 年度 第 43 回)

上田功氏 (大阪大学名誉教授、名古屋外国語大学外国語学部教授) (院 E15)
新村出記念財団から、氏の研究の集大成である『獲得と臨床の音韻論』(2023
年、ひつじ書房) に対し授与された。財団は、『広辞苑』の編纂等、日本言
語学の祖の一人として人文学の発展に貢献した京都帝国大学教授新村出博士
を顕彰するために設立された。

● Benedictus Polonus Award
(ポーランド人ベネディクト賞) (2025 年度)

澤田和彦氏 (埼玉大学名誉教授) (大 R23)
『プロニスワフ・ピウスツキ伝：＜アイヌ王＞と呼ばれたポーランド人』(2019 年、
成文社) とそのポーランド語訳 (2021 年) 等、長年のピウスツキ研究によりポー
ランド共和国から授与された。

着任のメッセージ



大阪大学人文学研究科 外国学専攻
ハンガリー語 特任講師
PESTI BRIGITTA
ベシュティ ブリギッタ
ベシュティ・ブリギッタと申します。今年 4 月、
外国語学部ハンガリー語専攻の特任教員に就
任し、来日しました。ブダペスト、ウィーンそし
てベルリンで、ハンガリー語、文学、文化、教育学と応用および比
較文学を修め、ブダペストのエトヴェシュ・ローランド大学にて 17 世
紀のハンガリー文学をテーマに博士号を取得しました。2010 年以降
はウィーン大学フィン・ウゴル学科でハンガリー文学、言語、文化を
教えてきました。



大阪大学人文学研究科 外国学専攻
ペルシア語 特任講師
SAEDI VERNOSFADERANI SARAH
サラ・サイーディー・ヴェルノスファエダーニー
サラ・サイーディー・ヴェルノスファエダーニー
と申します。ペルシア語・ペルシア文学の博士
号を持ち、イランの古典文学研究および辞書編
纂に携わっています。ペルシア語とペルシア文学を非母語話者の皆
さんに教える機会をいただき、嬉しく思っています。



大阪大学人文学研究科 外国学専攻
ポルトガル語 助教
後藤 恵
ごとう めぐみ
わたしの専門はポルトガル文学で、現在は詩人
のフェルナンド・ペソーアを研究しています。こ
の度、母校に戻ってくることができ大変うれしく
思っております。ポルトガル語の教員としても研究者としても成長でき
るよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。



大阪大学人文学研究科 外国学専攻
中国語 助教
池田 晋
いけだ すずむ
2025 年 4 月に外国学専攻に着任しました。母
校での教育と研究に携わることができて嬉しい
と思う反面、外大以来の伝統を知っているだけ
にプレッシャーも感じております。AI 全盛の時代ではありますが、機
械では分からない中国語の魅力を伝えていきたいと思っています。



大阪大学人文学研究科 外国学専攻
デンマーク語 助教
青木加奈子
あおき かなこ
大阪外国語大学の卒業生です。自分が受けた
教育を、今度は私が次の世代に伝えていくとい
う職務に、大変光栄であると同時に強い責任も
感じています。専門はデンマークの家族関係です。とりわけパートナー
関係やケア規範について研究をしています。これからどうぞよろしく
お願い申し上げます。

◆ 令和 6 年度退職教員

古川 裕 人文学研究科 教授 (中国語)
塩谷茂樹 人文学研究科 教授 (モンゴル語)
鈴木広和 人文学研究科 教授 (ハンガリー語)
田邊 欧 人文学研究科 教授 (デンマーク語)
平田恵津子 人文学研究科 教授 (ポルトガル語)
REZAI BAGHBIDI HASSAN 人文学研究科 特任准教授 (常勤) (ペルシア語)
POLET JEAN-NOEL 人文学研究科 特任准教授 (常勤) (フランス語)
NGUYEN THI NGOC THO 人文学研究科 特任講師 (常勤) (ベトナム語)
TAHIR MARGHOOB HUSSAIN 人文学研究科 特任講師 (常勤) (ウルドゥー語)
KRUSZLICZ TAMÁS 人文学研究科 特任講師 (常勤) (ハンガリー語)
Wikström Josef Robert 人文学研究科 特任講師 (常勤) (スウェーデン語)
矢倉喬士 (講座外) 兼修語学改革プロジェクト 特任講師 (常勤)



「約 50 年を経てクラブ再集合」
イスパニア語会話クラブ OBOG 会 福嶋 寛 (大 S 29)

2025 年 3 月 16 日、イスパニア語会話クラブの OBOG 会を懐かしい上本町にあるホテルアウィーナ大阪（旧なにわ会館）で開きました。1973 年から 76 年入学の計 28 名が関東や四国から参加しました。従来から連絡を取り合っていた数名の OB が昨年集まった際、「拡大して出来たら楽しそう」という一言から実現にこぎつきました。OBOG 会は、約 50 年経るとありがちな顔と名前の相互確認からはじまりました。橋本勇治さん（大 S 25）によるご発声で乾杯し、食事の合間には事前準備したスライド写真を見ながら在学当時の懐かしいクラブ活動を振り返りました。さらに、会話クラブの活動の一つで当時から部員が楽しみにしていたムシカ（イスパニア語の音楽）の時間を再現して、スペインやラテンアメリカの音楽 6 曲（フォンセカ、シエリート・リンド等）を皆で合唱しました。2 時間半におよぶ一次会終了後もホテル内の喫茶店に場所を移して二次会を行い、時間を忘れて尽きない思い出話に耽りました。今回は在学中にクラブ活動の時間を共有した 4 学年に限定して集まりましたが、今後は学年枠の拡大も検討していきます。



管弦楽団の近況と「同奏会」について
山岸 仁 (大 F34)

「大阪外国語大学管弦楽団（外大オケ）」は統合後、大阪大学外国語学部（G オケ）として活動を継続しています。大阪大学交響楽団という団体がありますが、全く別個に活動しています。
G オケは、外国語学部がある箕面キャンパスに併設されている船場生涯学習センター内で練習を行い、年に 1 度、定期演奏会を開催しています。



外大オケと G オケには OB 会はありませんが、「同奏会」というイベントを数年おきに開催しています。今年はその開催年で 10 月に行います。

音楽ホールを借り、楽器を持ちよって無観客で演奏会を行います。卒団生・現役から参加者を募り、演奏を続けている人も、久しぶりに楽器をケースから出した人も一緒にステージで音楽を奏でる喜びを分かち合います。

演奏会の部が終わると、場所を移してこんどは懇親会を開催します。数年ぶり、数十年ぶりの再会もありものすごく盛り上がります。地元関西からはもちろん、東京、北海道、九州の各地から、そして海外からもこの日のために駆けつける OB もいます。

同奏会によって卒団生を縦にも横にもつなげていくことができると幹事として願っています。



「いよいよ創部 100 周年演奏会に向けて」
大阪外国語大学グリークラブ OB 合唱団 大阪代表 栗生 昇 (大 K33)

大阪外国語大学グリークラブ OB 合唱団として、グリークラブ OB が東京、大阪、名古屋で男声合唱の活動を続けております。創部が大正 15 年（昭和元年）なので、昭和 100 年にその歴史が重なり、創部 100 周年演奏会を 2026 年（令和 8 年）10-11 月に東京、大阪で予定しております。4 ステージ構成で、「世界の歌」、「黒人霊歌」、「日本抒情歌曲集」、「月光とピエロ」を歌う予定です。「月光とピエロ」は男声合唱の傑作として知名度も人気も高く、団外からも賛助出演者を募って、大阪の演奏会では 100 周年に因んで 100 人以上で歌おうとしております。この曲の作曲者、清水脩は昭和 7 年フランス語科卒業の大先輩であり、我々のグリークラブ創成期を支えた指揮者でした。

今回の演奏会では、この「月光とピエロ」には、どなたでもご出演して頂けますので、是非、賛助出演にご応募下さい。ご連絡をお待ちしております。

写真は、今年 6 月 8 日の箕面市合唱祭に出演した際の演奏後の集合写真です。

「月光とピエロ」からも一曲を歌い、100 周年演奏会へ向けてのアピールと致しました。

大阪大学男声合唱団の OB 合唱団である大阪男声合唱団とも、相互にそれぞれの演奏会への賛助出演を行っており、来年 7 月、彼らの東京定演に出演し、その後、我々の 10-11 月の東京、大阪での 100 周年演奏会へ出演して頂きます。

今後一層、この様な男声合唱の交流の輪を多方面へ拡げて行ければと願っております。

賛助出演へのご応募、その他お問い合わせは、大阪代表 栗生昇 /1985 年卒、kurio1122@ezweb.ne.jp へご連絡下さい。



「Highway 423 Revisited」
外大軽音楽部 OBOG 久保田哲也 (大 IN35)

SNS を通じたゆるやかな繋がりをベースに、年一回のペースで続けている外大軽音楽部 OBOG のライブイベント。2024 年は 11 月 3 日に開催しました。今回は本当に久しぶりとなる磯貝和也さん（大 F36）による「打ち込み音源をバックギンにしたギターソロパフォーマンス」から始まり、樋口健志さん（大 IN35）、中上博さん（大 PB36）を含むメンバーによるハードロックなど、そしてイベント開催以来ずっと出演を続けてきているいくつかのバンドを含む全 7 ユニット 20 名がステージに上がり、いずれも素晴らしい演奏を披露してくれました。来場者には数十年ぶりの再会となる面々もあり、会場のあちこちで大きな話の輪が咲いていました。さて、今年のライブ開催は 2025 年 11 月 2 日、会場はいつもの江坂 TwinReverb です。題して「Six six Sixties（ロックろっく 60 歳）」。詳細は、X（旧 Twitter）「大阪外国語大学軽音楽部卒業生掲示板@OUFSLMC2020」で発信中。いま逢いたい仲間たちが集い、語らい、演奏する機会をいっぱい楽しみましょう。OBOG のみなさん、是非ライブ会場へ遊びにいらしてください。お待ちしております。



OSAKA SOGO DESIGN
あなたの可能性を広げる
ジブンデザイン
大阪総合デザイン専門学校

3 Fields

ファッションと生きていく。
UEDA College of FASHION
上田女子服飾専門学校

学校法人上田学園は、82 年の歴史を持ち、ファッションやデザイン分野の第一線で活躍するクリエイターを輩出し続けています。
UEDA GAKUEN
学校法人上田学園
http://uedagakuen.ac.jp/
大 R24 理事長 上田哲也

令和6年度 咲耶会総会のご報告

令和6年度咲耶会総会が11月9日(土)、箕面新キャンパスの大阪外国語大学記念ホール・大講義室にて開催されました。会場出席者83名、委任状提出者740名、計823名で、令和5年度につづき、総会、表彰式、講演会、懇親会を対面方式で行うことができました。

第一部の総会では、令和5年度の決算報告と令和6年度の予算案を承認。入会者が年々減少しているのが喫緊の課題ですが、年会費は前年度を下回ったものの、多額の賛助金のご寄付があり、何とか黒字を維持、4年続きでプライマリーバランスの達成が可能となりました。

本部役員の選任では、少徳敬雄相談役(大E11)、荒木和夫副会長(大DM18)、西尾齊幹事(大E11)がご退任、長年咲耶会を支えてくださったお三方に感謝の拍手を送りました。2007年の大阪大学との統合以来、副会長4年、会長7年、相談役6年と、17年の長きにわたり、咲耶会の発展にご尽力くださった少徳元会長から、感極まるご退任のご挨拶がありました。新役員・幹事については、大学役員のお二方、幹事の自己紹介文をP22に掲載しています。

第二部前半では、第9回「咲耶出版大賞」の表彰式が行われ、脇坂洋子選考委員から選考結果を発表。大賞受賞者のヴァンソン藤井由実氏がパリ在住のため、9月の来日に合わせて授賞式を行い、収録したビデオ録画を披露しました。



後半の講演会では、東京大学大学院総合文化研究科教授の阿古智子氏(大C42)に、「中国で何が起きているのか」の演題で、綿密な資料をもとに、現代中国の実情について、分かりやすく、示唆に富んだご講演をいただきました。氏は2023年にフジサンケイグループ主催の第24回「正論新風賞」を受賞されています。

第三部の懇親会では、来賓として大阪大学理事・副学長の田中学先生をお迎えし、ご挨拶いただきました。大阪大学外国語学部管弦楽団の演奏、語劇祭実行委員長と副委員長、夏まつり実行委員長のスピーチ等、エネルギーみな現役生の参加により、専攻語を超え、世代を超えた心温まる交流の場となりました。



宴もたけなわの中、小林正受副会長の閉会のご挨拶でお開きとなりました。(文責：井上泰子)

会費のクレジット決済をご活用ください

2018年4月から、咲耶会では会員の皆さまからの会費、賛助金を少しでもご協力していただきやすくするために、クレジット決済を導入しています。年々、会員が増加し咲耶会活動にかかる予算も増加する中、皆さまのご協力、ご支援で咲耶会活動の活性化と母校支援を充実させていきたいと存じます。海外からのお支払いも便利になりましたので、海外支部の皆さまには、ぜひご活用いただきますよう、よろしく願いいたします。詳細は、咲耶会ホームページをご覧ください。

このクレジット決済は咲耶会のデータ管理、名簿作成で長年業務委託している株式会社サラトのシステムを利用していますが、クレジット決済に関するクレジット情報はSMBCGMO PAYMENTにのみ残るシステムで運用していますので安心してご利用ください。

※ご利用いただけるクレジットカードは、VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、DINERSです。
 ※咲耶会ホームページから、クレジット決済ページへアクセスすることができます。

<咲耶会ホームページ> sakuyakai.net

なお、2019年度から、会報『咲耶』賛助金を、会報以外の多目的に活用させていただくため、単に「賛助金」といたしております。皆さまの温かいご理解のもとご支援よろしく願い申し上げます。

コンビニエンスストア・郵便局でのお支払いに関する留意点

- 振込用紙のコンビニバーコードでスマホ決済が可能になりました。
- ◇2022年度よりコンビニ用バーコードをスマートフォンの以下のアプリで決済できるようになりました。ご利用方法につきましては各アプリのホームページでご確認ください。
- ◇ご利用可能なアプリ：PayPay、auPay、LINE Pay、PayB

- 郵便局での窓口現金振込の手数料が廃止されました。
- ◇2024年1月22日(月)以降、郵便局から現金でお振込みいただく場合、振込人負担として110円が加算されていた振込手数料が廃止されました。この料金は、2022年1月17日に導入されたものです。この改正により、窓口やATMで現金で支払う場合も、通帳またはキャッシュカードにより口座から支払う場合も、同一の料金となります。

毎年、当会より会員のみなさまへ送付する同窓会報に振込用紙を同封しています。お手元に届きました振込用紙をご利用ください。払込手数料は、当会が負担いたします。ご利用いただけるコンビニエンスストアは以下のとおりです。



- 振込用紙は下記の3種類を同封しています。
 - ③については、別紙となっています。
 - ①年会費 3,000 円のみ送付用 (郵便局、コンビニエンスストアのどちらでも使えます。)
 - ②年会費・賛助金一括送付用 (年会費 3,000 円、賛助金一口 3,000 円、計 6,000 円を一括してお送りいただけます。郵便局、コンビニエンスストアのどちらでも使えます。)
 - ③年会費 3,000 円+賛助金2口以上の一括送付用 (郵便局でご利用ください。金額欄は空欄です。年会費と賛助金の合計額をご記入ください。)
- 振込用紙を紛失した方は、郵便局もしくはクレジットカードでの払い込みをお願いいたします。(コンビニエンスストアでの払い込みはできません。)

咲耶会 ワインを楽しむ会

若手活性化委員会委員長／在学生支援委員会委員 福山泰海 (大H59)



今年の2月7日に5回目のワインを楽しむ会をしました。参加者は10名で、その中に現役学生が2人いました。夏祭り実行委員の委員長と語劇祭の元実行委員長です。2人とも社交的な性格で、20代から80代まで幅広く交流ができました。参加した人からは「楽しかった」という声をいただき、リピート率も高く、4ヶ月に1回程度の頻度で開催してきました。

コンセプトの1つはフレンチのフルコースです。フレンチの良さは何といっても会話に集中できることです。逆に例えると、例えば立食パーティーの場合、安くて多くの参加者が入り、場所や食べ物飲み物に自由が効きます。一般的に賑わいを演出できる良さがあるといえます。しかし、誰と話すか、何を食べるか、誰に注いで回るか、ということに意識の大半を費やしていることも事実です。気づいたら多くの人と話はしたが、何を話したかよく覚えていないというのが立食パーティーには付きものです。フレンチの場合、席が決まっており、おいしい料理がシェフの最善の順序で出てきます。ワインもホールスタッフの

人が注いで回ります。未成年がいれば、もちろん個別対応もします。フレンチは世界各国で外交官の交流の場にも使われており、古今東西の会話を楽しむための工夫が盛り込まれています。

私自身の話をすると、会の後には決まって、若者数名と連れ立って2次会のカフェをしています。1次会の盛り上がりがあるので、2次会はもっと話が深まります。その後、スーパーや駅など人混みの中でばったり会うこともあります。お互いに認識でき、挨拶もします。思えば大学が同じだっただけでなく、生活圏も重なっていたのだと感ずることがあります。食事はもちろん、会話を通してつながりが生まれるのは、同窓会としても相性が良かったと思います。

さて、最後に2点の宣伝です。

フレンチのフルコースではありますが、特別敷居が高いわけではなく、お一人4,000円台とワインの持参で、学生は無料です。ワインを楽しむ会は、四季に合わせて開催しており、今回は8月か9月、その次は11月の年次総会に合わせて懇親会に統合、その次は1月か2月に開催予定です。申し込みは下記URLもしくはQRコード、メールアドレスからよろしくお願いします。



【申込】
 <https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfbsAiao2jkusSFxm3q3PBnyc05K17ycELMu2zVhHWHJH4YVYQ/viewform>

【問合】
 咲耶会幹事 福山泰海 2011年ヒンディー語専攻卒
 fukuyamanagi@gmail.com
 090-1890-2338

【場所】
 レストラン キャラント キャトル
 大阪市中央区今橋2-2-17グロース北浜ビルディングB1F

【金額の目安】
 1人4,500円前後とワインの持込
 学生は1,000円前後
 未成年はソフトドリンクを用意

弁護士 大 水 勇

TMI 総合法律事務所 大阪オフィス
 〒530-0017
 大阪府大阪市北区角田町 8-1 梅田阪急ビルオフィスタワー 36 階
 Tel: 06-6311-0577 / Fax: 06-6311-3978(代表)
 e-mail: iohmizu@tmi.gr.jp http://www.tmi.gr.jp
 東京／名古屋／神戸／大阪／上海／北京／ヤンゴン／シンガポール
 ホーチミン／ハノイ／プノンペン／シリコンバレー／ロンドン

古典芸能案内人 II E 17
 文楽、落語、歌舞伎の面白さを伝えます。
 天野光 (本名・天野豊子)
 AMANO HIKARU
 文楽、落語、歌舞伎のセミナー依頼受付中。古典芸能案内人で検索!!!
 アメブロ: <https://ameblo.jp/koten-geinou-guide/> 古典芸能のスミ: <https://artcoordinator.com/>
 e-mail: artcoordinator2@gmail.com フェイスブック: amano.hikaru.2

第10回 咲耶出版大賞『ハマスの実像』紹介

青木伸也 (大 TV28)



咲耶出版大賞は 10 回目を迎え、多彩な応募の中から選考委員が査読検討した結果、川上泰徳氏（元朝日新聞記者・編集委員）著作の『ハマスの実像』を第 10 回大賞とすることに決定した。

世界情勢は、米中対立、更に世界炎上（ウクライナ情勢、ガザ情勢、イラン情勢）となり、第二次世界大戦の反省に立って平和構築のために「法の支配」や「自由貿易」を発展させてきた流れに逆行する様相を呈している。

かかる情勢下、「ガザ情勢」は、現代史の最重要問題の一つである「パレスチナ問題」の炎上であるが、イスラエル・パレスチナ和平の基盤は、1967 年の国連安保理決議 242 号のイスラエルが軍事占領した西岸・ガザ・東エルサレムから撤退し、パレスチナ独立国家が樹立され、アラブ諸国もイスラエルの生存権を認める「土地と和平の交換」原則にある。ところが、一般的にはこのパレスチナ問題について正しく理解しているとは言えず、イスラエルは軍事占領を継続し、「ハマス」もイスラエル・欧米の情報から「テロ」組織との認識でいることが多い。著者はアラビア語同窓生で、アラビア語を駆使してパレスチナ問題の被災を受ける側の立場と世界情勢との双方から調査・論考を行った。この手法は本学の言語とその背後にある文化等からの方法論に大いに貢献するものである。著作は、世界の大方の見方とは逆の視点をも重視し、できる限りハマス・パレスチナ人側の視点からも観察し、ハマスの指導者やメンバーが何を考えパレスチナ民衆は何故ハマスを支援するのか、現場取材を通じて生の材料からハマスの実像を探り、日本や世界の人々に正しい判断を求めるものとなっている。

著作発刊後、イスラエルのイラン攻撃もあり著作に掲載されたハマス幹部 3 名は殺害された。赤根智子国際刑事裁判所 (ICC) 所長はネタニヤフ首相に戦争犯罪の逮捕状を発布した。著作が英訳され世界の人々に発信されることを希望したい。

新入生
ウェルカムパーティ2025
を開催しました

若手活性化委員会／在学生支援委員会委員

後藤 峻 (夜 F42)

咲耶会主催の「新入生ウェルカムパーティ 2025」が開催されました。この企画名を“ウェルカムパーティ”として始めた 2016 年から数えると今年でちょうど 10 年目の開催となりました（以前は新入生歓迎会として咲耶会が企画していたものを、学生目線にカジュアルに表現し直しました）。



それ以来、おかげ様で毎年参加者は増えていき、今年も 60 名ほどの参加者が集う咲耶会定番の企画となっています。

新入生の参加をメインにしつつ、当日は上回生や先生方にもご参加いただき、また運営をする咲耶会スタッフも各ゲームやキャンパスウォーク、交流に参加いただきます。会場にいる全員で楽しめることを目的にしているのが本イベントの特徴となっています。

今年は日程を日曜日と変更したため、あいにく部活・サークルによる演奏などは行われませんでした。その分交流の時間が増えたので、参加されていた 1 年生はここでの出会いを楽しまれていました。

上回生の中には「去年参加して楽しかったから」などと言ってくださり、撤収作業まで手伝ってくださる方もいらっしゃいました。咲耶会としても、現役生と組織の連携や一緒に運営や活動をしていく機会が昨今求められていますので、「咲耶会や同窓生とのタッチポイント」としての役割を意識し、その一つの機会として来年以降も継続したいと思います。

引き続きご支援のほどどうぞよろしくお願いします。

第11回「咲耶茶論」開催
— 講師は“インドは家業”という生い立ち —

講演会・勉強会組織委員会 委員長 深川泰博 (大 E16)

第 11 回「咲耶茶論」が 2025 年 1 月 25 日(土)に開催されました。会場は大阪大学箕面キャンパス 4F の中講義室。講師は当会の幹事で、大阪大学外国語学部ヒンディー語 2011 年卒業の福山泰海氏。演題は「日本人墓地と日印交流の歴史」。厳寒の季節にもかかわらず、40 名近くの参加がありました。



同氏とインドとの関わりは深く、実家は老舗 40 年のヨガ教室を運営。“インドは家業”という生い立ち。在学中はインド政府中央語学院に国費留学するなど同国との関わりを更に深められた。その間、インド第二の都市ムンバイに日印国交樹立 (1894) 以前から日本人の墓地があることに着目。その存在をベースに日印両国の交流史を卒論に纏められた。

卒論発表から 14 年。偶々それを目にした日本経済新聞の在印特派員から大学を通じて連絡があり、日本人墓地のことが同紙面で紹介されるに至った。後日談として、同記事を見た日本の駐印全権大使がその墓地を訪問・参拝されたとのこと。一学生の卒論が日本政府の対印外交活動を動かしたのである。同氏は「近い将来、日印両国首脳が揃って参拝されるかも…」と期待する。

同氏によると、ムンバイの日本人墓地に最初に埋葬されたのは 1891 年に亡くなった 19 歳の「笠原リサ」という女性（のちに「からゆきさん」と判明）だという。日印国交樹立が 1894 年なので、なぜその時点で埋葬されたのか。その疑問を解明するため同氏は、当時の世界情勢、特に外交面、航路面、貿易面、金融面等の観点から克明に分析、その時代背景を探っていく。

時はあたかも日清戦争 (1894 年勃発)、日露戦争 (1904 年勃発) の前夜、日本政府はインドとの接触を急速に深めていく。例えば軍服の原料である綿花の調達先を、それまでの中国 (清国) からインドにシフトしていく、等々。その時代背景を詳細に分析し、日印の交流拡大の経緯を雄弁に紹介していく。

二時間に及ぶ講演のあと、聴講の元恩師らから賞賛のコメントや質問が多数寄せられ、同氏の今後更なるインドとの関わりと貢献に大いなる期待が寄せられるなか茶論は終了しました。

なお、この講演の全容については、YouTube でご覧いただけます。「咲耶茶論」で検索の上、ぜひアクセスしてみてください。

～新役員紹介～



菊池正和
(大阪大学外国語学部
副学部長)

この度、幹事として咲耶会の仲間入りをさせていただくことになりました菊池正和と申します。イタリア語専攻の教員をしております。専門はイタリア文学です。私自身は大阪外国語大学の卒業生ではありませんが、現在息子が大阪大学の外国語学部にお世話になっております。咲耶会の発展に微力ながら尽くしたいと存じます。何卒よろしくお願いいたします。



原真由子
(大阪大学外国語学部
副学部長)

インドネシア語専攻の原です。昨年 4 月に外国語学部の副学部長に就任し、大学役員として咲耶会に関わることとなりました。箕面船場の新キャンパスへの移転から 4 年、駅の完成も経て、学部は新たな時代を迎えています。同窓生と在学生が知識や経験を分かち合えるよう、微力ながらお役に立てればと思っております。

長尾美知代 (大 S33)

大先輩からの誘いで京都支部へ入会したのがきっかけで、この度幹事を務めさせていただくことになりました。卒業後 40 年の間、大阪外大の変遷や、京都の街中もゲストハウス等への建替で景色は様変わりしましたが、自分だけ進化していないようです。微力ながら少しでもお役に立てれば嬉しく存じます。どうぞよろしくお願い致します。

令和 6 年度 決算報告 (令和 6 年 7 月 1 日～令和 7 年 6 月 30 日)

	決 算	(単位: 円)
収 入	入会金収入	900,000
	年会費収入	4,746,000
	賛助金収入	1,914,000
	咲耶広告収入	243,000
	名簿及年史収入	19,200
	総会収入	280,000
	雑収入	24,971
	合計	8,127,171
支 出	援助金	300,000
	事業費	793,934
	運営費	3,421,714
	咲耶作成費	2,929,715
	咲耶通信費	2,294,056
	合計	9,739,419
収支差額		-1,612,248

期首正味財産(前期より繰越)	37,463,426
期末正味財産(次期へ繰越)	35,851,178

令和 7 年度 予算案 (令和 7 年 7 月 1 日～令和 8 年 6 月 30 日)

	予算案	(単位: 円)
収 入	入会金収入	1,000,000
	年会費収入	4,800,000
	賛助金収入	2,500,000
	咲耶広告収入	284,000
	名簿及年史収入	70,000
	総会収入	400,000
	雑収入	276,000
	合計	9,330,000
支 出	援助金	300,000
	事業費	1,130,000
	運営費	4,100,000
	咲耶作成費	3,000,000
	咲耶通信費	2,000,000
	合計	10,530,000
収支差額		-1,200,000

期首正味財産(前期より繰越)	35,851,178
期末正味財産(次期へ繰越)	34,651,178

英語学科 1981 年度入学の卒業生が 40 年ぶりに同窓会を開催しました 高村洋一（大 E34）



旧大阪外国語大学英語学科に 1981 年度に入学した卒業生 38 人（1 次会は 37 人）が集まって 5 月 31 日、千里阪急ホテルで卒業以来初となる全体の同窓会を開催しました。

40 年ぶりに出会う歓声を上げる場面もあり、年齢を重ねても学生時代の面影を残す参加者同士が再会を喜び合いました。亡くなった恩師の先生方々をしのんで黙祷した後、開催を最初に提案して準備の先頭に立った市原修さんが登壇しました。「参加率は 62% でした！」と代表幹事としての開会挨拶で報告し、盛況ぶりに喜びがあふれました。

同級生同士の夫妻 3 組が司会や乾杯の発声などを担当しました。全員から近況報告があり、仕事を続ける人、定年後は悠々自適の人など十人十色。今も英語を教えたり、仕事で使ったりしている人が目立ちました。BGM には 1980 年代の洋楽のヒット曲を流しました。

会場には語科合宿や大学祭「間谷祭」の思い出の写真や旧大箕面キャンパスの現状リポートを展示しました。また、故・金山崇教授の「お別れの会」の様子を、参加者で子息の金山亮太さんが紹介しました。

当日は会に先立ち大阪大外国語学部のある箕面キャンパスの中を特別に咲耶会の井上泰子副会長（英語学科の大先輩）にご案内いただきました。来賓を応接する「もみじラウンジ」や「大阪外国語大学記念ホール」などを見学させていただき、感慨に浸りました。

大阪・東京外語大陸上部創部 100 周年合同祝賀会

OGAC 満天会 東京支部長
中村隆雄（大 IP26）



大阪・東京外語大陸上部創部 100 周年合同祝賀会が令和 7 年 4 月 19 日（土）アルカディア市ヶ谷私学会館 6 階「霧島」において、大阪外大陸上部（OGAC）の関西から参加された 2 名を含む 14 名、東京外大陸上部（鳳翼会）の 20 名、合計 34 名の参加をもって盛大に行われました。

東西外国語大学陸上部の対抗戦は、大正 14 年（1925 年）7 月 15 日、東京の学習院グラウンドで第 1 回が行われました。その後戦争等で中断もありましたが、大阪外大が大阪大学の外国語学部として統合された平成 19 年（2007 年）の第 71 回大会まで行われ、日本屈指の長い伝統を持つ大学陸上部の対抗試合でした。女子の部は、平成 2 年 10 月 18 日、江戸川区陸上競技場で第 1 回が行われ、平成 19 年の 18 回大会まで行われました。両大学陸上部員は、この対抗試合に勝利することを目標に練習に励み、OB・OG は後輩たちの活躍を応援し見守ってきました。母校大阪外大が大阪大学と統合して早くも 18 年経過しましたが、その間も両大学 OB・OG は個人同士の交友をはじめ懇親会、ゴルフ対抗戦等を通じて姉妹校としての絆を温めてきました。本祝賀会の一つの時代が過ぎ去った区切りでもあり、感慨深いものがありました。

東京フランス会の開催報告 ―戦前社研研究会第 6 回総会資料の配布― 福田玲三（F21）



去る 5 月 25 日、戦前大阪外語社研研究会第 6 回総会とあわせ学習講演会『『外語社研』創設、反戦平和とめ闘いぬいた原田耕の生涯』が箕面キャンパスで開催された。

当日の朝 9 時過ぎに離京し、新幹線で正午前、新大阪駅に到着。出迎えていただいた稲田力氏の車に、総会主催の成瀬龍夫ご夫妻と同乗、箕面キャンパスに向かった。（総会后、新大阪駅に送っていただいたときも成瀬ご夫妻と一緒にした）

キャンパスでは、咲耶会副会長・井上泰子氏のご接待を受けた後、総会と学習会に参加。今からちょうど 100 年前の 1925 年 3 月に制定された「治安維持法」によって、翌 26 年 1 月に弾圧された母校の先輩・原田耕氏の生涯を学び、新しい戦前と言われる昨今に生きる覚悟を教えられました。

その後、6 月 18 日に東京フランス（同窓）会の集まりが、都内で開かれ、参加者はフランス語科 8 名（内 1 名女性）と応援の英語科 1 名、スペイン語科 1 名、インド語科 2 名の計 12 名だった。

会では青野光裕氏（フランス語科 S35 年卒）の司会で、まず 5 月 25 日に箕面キャンパスで開催された戦前大阪外語社研研究会第 6 回総会の議題と学習講演会（『外語社研』創設、反戦平和とめとめ闘いぬいた原田耕の生涯）の資料 6 部が、総会に出席した福田（S19 年卒）から配布され、次いで参加者の近況報告が行われた。

その後、司会者から世界情勢に関連して BRICS（ブラジル・ロシア・インド・中国・南アフリカの加盟組織）の活動について意見交換が提起され、そのためにまずインドの現状について参加者から報告があった。

BRICS については、今の腐敗した G7 に代わる勢力として評価したいとする意見と、名前だけの実体のない組織、と批判する意見とがあったが、今後とも世界情勢の理解に努めたい旨、司会者から締めくくられた。

「アヴローラの会」（ロシア語学科・ロシア語専攻同窓会） 川喜田まり子（大 R22）

6 月 21 日、大阪大学箕面キャンパス「大阪外国語大学記念ホール」で、第 30 回「アヴローラの会」総会&懇親会が開催され、32 人（会場 20 名、オンライン 12 人）の同窓生が集いました。

総会は、生田美智子代表幹事の挨拶で始まり、今年 4 月に逝去された前代表幹事藤本和貴夫氏を偲んで黙とうを捧げ、これまでの氏の活動に感謝の意を表しました。続けてロシア語学科教員藤原克美氏から挨拶をいただいた後、事務局からの報告、会計・監査報告と順調に議事が進みました。

メインイベントである記念講演では、市川浩氏（S57 年卒）が「戦時下のモスクワを歩く」と題して、2023 年～25 年の 3 回にわたるロシア訪問体験を話されました。モスクワでは、街角には募兵ポスターなど、戦争関連の掲示物のなどがほとんどなく、人びとは戦時中とは思えないほど普通の市民生活を送っているといった現地情報や、エマニュエル・トッドの『西洋の敗北』をベースにして氏の現地体験から導かれたロシアの現状分析は非常に興味深いものでした。参加者からもたくさんの質問や意見が寄せられ、質疑応答に時間が足りないほどでした。

その後は懇親会へ。同窓生からは、ご自身が書かれた書籍や記事の紹介、退職後ロシア語やロシアに関わる活動を再開したお話、ロシア語の歌の披露、また在校生からは語劇祭で「罪と罰」に挑戦するとの発言などもあり、同窓生や在校生の益々の活躍が期待される会となりました。



東北支部

黒木一吉（II E10）

酒は、何を飲むかではなく、誰と飲むか！？

東北支部の皆様、こんにちは。お元気ですか？そして全国の咲耶会の皆様、14 年前に発生した東日本大震災の復興支援では、激励やら物心両面にわたる励ましを頂戴し、誠に有難うございました。改めてお礼と感謝を申し上げます。

これまで本部正副会長を迎えた講演会など順調に支部活動を展開して参りましたが、コロナ禍でしばらく活動を休止。そして令和 5 年、3 人が仙台駅ビルに集まり懇談再開。去年はビル屋上ガーデンでのビアパーティを企画しましたが、開催直前に大雨雷雨警報が発令され、ガーデンは閉鎖。急きょ、居酒屋で 4 人が懇談しました。皆さん、お酒は何を飲むかではありませんよ。誰と飲むかがポイント（だと思いますよ）。

気心の知れた同窓生、OB、OG の皆さんど「高槻」「上八」「箕面」校舎等の思い出も酒の肴にしながら飲むビールは最高！日本酒もいいですね。今年も仙台に集い「元気交換」をしたいと思います（5 月下旬時点）。元気な笑顔で集えること自体が生きている証。生きているだけで人生 100 点満点！さあ、これからも皆さんと仲良く、元気に、乾杯、カンパ〜イ！

東京支部

樽井一仁（大 R23）

東京支部 ビアパーティ



7 月 26 日（土）東京支部夏の恒例のビアパーティを、靖国神社近くの二松学舎大学 13 階のレストランで開催しました。二松学舎理事の西畑氏（法学部・1979 年卒）のおかげで会費を 5,000 円に抑えることができました。（2024 年は 7,000 円）猛暑の中、汗だくになりながら 50 名が集まりました。内訳は東京支部会員 38 名、大阪大学卒業生（法・経済・工・基礎工）6 名、大阪大学関係者 2 名、東京外語会 4 名でした。2000 年以降の卒業生が 14 名と約 3 割を占めました。

大下支部長の挨拶・乾杯の音頭で開幕し、ビールを片手に会話が弾みました。

山田氏（大阪大学共創機構・東京）から、この5月に虎ノ門ヒルズに移転した大阪大学東京オフィスの説明と利用のお勧め、東京外語会の高村・旅の会会長から今年の12月に予定されている「海外支部歴訪の旅」の説明とお誘いがありました（毎回、東京支部会員が数名この旅行に参加しています）。会の半ばには、川西氏（工学部・1973年卒）のオカリナ演奏でハワイアン2曲、大阪外大グリークラブOB5名で、クラブソング「Gaigo Will Shine」と愛唱歌2曲のお披露目がありました。最後は、再びグリーOBによる校歌、東副支部長の中締め挨拶で、楽しく過ごした2時間に幕を下ろしました。

長野支部

山西敏博（院後言社8）

2019年度から長野支部を設立し、統括しております山西敏博です。長野支部では支部長を中心に孤軍奮闘しております。

2019年8月に初の「長野県支部設立記念同窓会」を中信（信州中央）地域・松本市にて開催しました。140余名中13名のご参加を頂きました。以来'20年度（東信：上田市）では3名、'21年度（北信：長野市）にて7名、'22年度（南信：諏訪市）にて4名、そして'23年度には再度中信：松本市にて5名のご参加を頂きました。5年連続の開催でした。

2024年度は、東信（上田市）にて9月に参加を募るべく、メールや電話で何度も50数名に連絡しましたが、誰一人参加が叶わず、やむなく初の非開催となりました。通常は中心都市1カ所に固定し、そこにお越しになられた方々で行うものですが、各地域に居住される方々への利便を考慮し、幹事が県内を動き回るといふ異例の方法で開催するも「遠いから行かない」と言われてしまいました。それではどうしようもない、という実情があります・・・。従いまして、しばらくは様子を見て活動することと相成りました。詳細なご質問は、山西宛にご連絡下さいませ（ezm11541@nifty.ne.jp / 080-3237-0225）。咲耶会を信濃國で盛り立てることの難しさを痛感する現状です。会員の皆様もご協力を頂けますようよろしくお願い申し上げます。

名古屋支部

白岩 修（大D19）

令和6年～令和7年度名古屋支部活動状況

名古屋支部総会を今年6月14日（土）にホテル ルブラ王山で開催致しました。

26名（内、岐阜支部5名）の方に出席して頂きました。皆様にはまず、名古屋支部と岐阜支部の統合の件を諮りました。岐阜支部の丹羽支部長が高齢の為、後継者を岐阜支部で探しておられましたが見つからず、名古屋支部との統合の話が出てきました。統合の件、皆様からは快く了承して頂きました。今後は新制「名古屋・岐阜支部」として、活動をして参りますので宜しくお願い致します。

次に、咲耶会の財政状況が非常に厳しく持続可能な運営をするために、引き続き「年会費」と「賛助金」を宜しくとのお願いをしました。名古屋支部の恒例でもあります。全員の自己紹介と近況報告をして頂きました。



本会ではゲストスピーカーとして吉田春生氏（大D18、1970年卒、集合写真前列左から4人目）をお迎えし、「村上春樹のこと、出版事情のこと」と題し、興味深い講演をして頂き、参加者一同大変感銘を受けました。

来年の名古屋・岐阜支部総会は令和8年6月13日（土）を予定しています。当支部では昼食懇談会も開催しています。今後は9月13日（土）、12月13日（土）、来年3月14日（土）に開催を予定しています。毎回、10名前後の参加を得て、政治・経済問題、外交問題、趣味など諸々の話題で楽しい会となっています。三重県の方も総会・昼食懇談会に是非ご参加ください。

これら総会並びに昼食懇談会の告知の為に名古屋・岐阜支部メーリングリストを活用しています。メーリングリストの更なる充実に努力します。又、本部の協力も得て、咲耶会Facebook、ホームページでもご案内をしています。Facebookにいいね！を頂けると有難いです。励みになります。

本部並びに東京支部から頂くいろいろな有意義な情報も会員様にご連絡しています。会員の皆様からは大変喜ばれています。ドイツ語科の方にも情報をお送りしています。大阪大学外国語学部のホームページも活用しています。マンスリー多文化サロンの案内等が載っています。又、会員様には会報『咲耶』の「短信欄」並びに「つどい」コーナーへの寄稿もお願いしています。2025年版「同窓生名簿」の購入もお願いしています。

丹羽岐阜支部長、長い間お疲れ様でした。ありがとうございました。

奈良支部

佐柄保夫（大C26）

奈良支部はホテル花小路の6月例会に、元外大副学長、前京都外大学長の松田武先生（大E18）をお迎えして、「自発的対米従属のからくり」と題する日米安保と戦後体制の講演を行っていただきました。

暫定的な日米安保条約がなぜ70年も維持されてきたのか、米国の叡知「スマート・ヤンキー・トリック」という南北戦争時代からの行動手法があり、米国が相手国（日本）から強奪するのではなく、あらゆる手練手管で根回しをし、日本から差し出

され、懇願される形をとる。戦利品だった沖縄基地は親米派の人的ネットワークを用いて、米国の機密情報や意図を日本側に流して、日本側からの要求で米軍の継続的使用とした。日本は米国と対等でありたいという建前と、対米追従の「寄らば大樹の陰」の本音が交錯する半主権的国家のまま現在に至っている。



今回の出席者は過去最多で、米国知識人の高い評価を得られている先生の著書の内容と、日米関係の近因になった戦後占領政策および最近の米国情勢の関心の高さがうかがえました。なお、松田先生が外大助教授時代のゼミ生だった英語科30回生の竹田多恵子、山口好子の両氏から、講演終了後、卒業以来の再会で花束贈呈が佳事でした。

香川支部

佐々木雅彦（大IP38）

今回からこの「支部だより」の執筆を、森本勝幸（大S15）先輩に代わりまして佐々木雅彦が担当いたします。香川支部の総会は毎年、高松市の「KANEMITSU CAPITAL HOTEL」（旧ルポール讃岐）で8月の最後から2番目の土曜の夕方の開催と決めており、2024年度も8月24日（土）にここで開きました。

参加した10人（男性7人、女性3人）は年代も幅広く、1961年卒から2019年卒まで、さらに現役の学生さん（1年生）も参加してくれました。学生さんを含む4人は初参加。アマチュア落語家、高校サッカー部の指導者といった多彩な方々で、学生さんはフィリピン語を学び、フィリピンの孤児院でボランティアをしたこともあるそうです。

総会に続く懇親会ではそれぞれが近況の話、大学での思い出話で盛り上がり、最後は恒例の校歌「大阪外国語大学歌」をみんなで歌いました。「世界をこめし戦雲ようやくはれて／東の空に暁の明星ひとつ／これぞ大阪外国語大学」で始まる歌詞は、なんと雄大であるか！とあらためて思いました。

※写真は総会開始直前に撮影。遅れて参加した2人は写っていません。



愛媛支部

垣生千春（大IP40）



2024年11月16日に愛媛支部総会を開催いたしました。コロナ禍を経て久しぶりの再会は4名のみとなりましたが、長くお会いできなかった間のお話に花が咲き、和やかなひとときとなりました。

今年の支部総会では更に多くの皆様にお会いできたと思いますので、お気軽にご参加ください。

日時：2025年11月15日（土）12:00～

場所：松山市「老若男女食酒庵 茶家茶家」

会費：¥3,000

ご連絡は10/24（金）までに090-8286-8341（垣生）へ、恐れ入りますが日中はSMS又は留守電をご利用ください。皆様のご出席をお待ちしております。

宮崎支部

木崎宣博（大PB42）

宮崎支部は毎年、同窓会を本部の総会の前後に開催していましたが、今回は忘年会や他の行事と重ならないよう10月12日に開催いたしました。

一昨年にLINEグループを作り、同窓会の連絡等有効に活用しています。この会の特徴は、老若男女の幅広い世代が集いあうこと。2時間あまりですが、それぞれが近況を語り、また、それを聞くことにより、みなさんがそれぞれの立場で社会に貢献されているなと感じ、「さあ、私も明日から頑張ろう」という気持ちを起こさせてくれるところにあるのではないかと思います。



同窓会出席者
木崎 宣博
杉田 亨一
男成 健一
笹原 敬生
海野 大輔
黒木 國益
戸高 昭彦
弓場 照美
近藤 哲二
（敬称略）

昨年の同窓会には、写真のとおり9名の参加がありました。時を忘れて大変盛り上がりました。今年も会報『咲耶』の「支部だより」をご覧になり、新しい参加者が参加されることを期待しています。今年はコロナも明けたことから一人でも多くの同窓生が参加されますよう、しっかり取り組んでまいります。

支部だより

ニューヨーク支部

石田佳子 (大 D29)

阪大北米支部ではコロナ禍中オンラインで総会を開催しておりましたが、2024 年 10 月に、LA にて対面での総会を再開致しました。2025 年は同様に対面での総会開催を計画しております。今回は東海岸(多分ニューヨーク)になる模様です。

ジャカルタ支部

坂口広之 (大 IN36)

ジャカルタ支部活動報告

ジャカルタ支部を代表して支部活動について報告いたします。活動連絡は E メール、WhatsApp を通じて行っています。ジャカルタ支部 WA グループ登録メンバーは現在 33 名。既に当地を離れている方もいますので、現インドネシア在住メンバーは 20 名前後となっています。主活動は 2 ～ 3 か月ごとの夕食会で、参加者は毎回 6 ～ 10 名となっています。2024 年 8 月以降に開催した夕食の集いは以下 5 回です。

- 1) 2024 年 9 月 27 日
場所：Sinar Mandala (中華料理)、参加者 10 名
- 2) 2024 年 12 月 20 日
場所：Casita (アルゼンチン料理)、参加者 4 名
- 3) 2025 年 3 月 1 日
場所：串むすび (日本料理)、参加者 6 名
- 4) 2025 年 4 月 11 日
場所：Agneya (インドネシア料理)、参加者 9 名
- 5) 2025 年 6 月 13 日
場所：MANZO (イタリア料理)、参加者 8 名

インドネシア語学科の卒業生が多いですが、スペイン語、イタリア語、スウェーデン語、ポルトガル語、アラビア語、タガログ語、朝鮮語など他語科出身の方々にも広く参加いただいています。写真は今年 4 月に集まった時のものです。

なお、新メンバー募集は、どこそこの新駐在員が阪大外大もしくは阪大外国語学部出身らしい… という口コミ情報を得てコンタクトする、という古典的な方法のため、インドネシア在住でまだジャカルタ支部の存在を知らない同窓生もいると思います。この会報を読まれた在インドネシアかつジャカルタ支部未入会の方は是非坂口までご連絡ください。

e-mail address : darwin0708@gmail.com



マニラ支部

阪 凌介 (阪大 PH9)

フィリピン・マニラ近郊でデジタル・デトックス

フィリピン駐在員の週末の過ごし方という、ゴルフやスキューバ・ダイビングを思い浮かべる方が多いでしょう。しかし、マニラ近郊で楽しめるのはじつはそれだけではありません。

リサール州タナイという山間の町には、「マスンギ・ジオリザーブ」という地形保護地区があり、その独特な地形が形成された歴史を学びながら 3 時間ほどトレッキングを楽しむことができます。約 6500 万年前頃から海中で形成された地形が、隆起し、今私たちが目にしている山肌のギザギザ感を「マスンギ (フィリピン語: Masungi)」と呼び、この保護施設の名前になっています。

先日は、朝 4 時に集合して朝日を拝んできました。マニラの喧噪や、ジープニーのエンジン音やクラクション、排気ガスから解放され、電波が届かない自然に囲まれた空気の綺麗な場所で、仕事も忘れてリラックスすることができます。アスレチック要素もあるトレッキング・コースで良い運動になり、心身共にリフレッシュできます。なんといってもマニラから 1 時間で行けることが魅力です。マニラ支部では懇親会を定期開催し、こうしたマニラ生活や娯楽の情報交換に加え、メンバー同士でお出かけするなど、フィリピンらしく学年の垣根を越えて和気藹々と活動しています。

末筆ではありますが、40 年に亘りマニラ支部を盛り上げ見守って下さった青木明夫さん (中国語 1956 年卒) が本年 2 月 1 日マニラにて逝去されました。感謝申し上げるとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。



故青木明夫氏 (右前列) とともに
2024 年 10 月 15 日 咲耶会懇親会

マスンギ・ジオリザーブ

北京支部

氏家道登 (阪大 C4)

大家好 (皆さんこんにちは)！

北京支部では 3 ヶ月に一回程度懇親会を開催しております。毎回本場の「ガチ中華」を囲み、白酒で盛り上がっています。昨年は北京火鍋、北京ダック、羊の腿焼きなどを堪能しました。

さて、中国では昨年 11 月からビザ免除が復活し観光・ビジネスの往来ももとに戻るかと思いきや、渡航者の数は依然として少ない状況が続いています。北京在留邦人数も減少傾向にあり、今年は 5000 人を下回ってしまっていました。

それに伴い本会も少人数開催となることもしばしば...そんな中でも同窓会という絆でつながっている先輩後輩がいることは大変心強いことです。

懇親会は大阪外国語大学、大阪大学に縁のある方はどなたでも歓迎しており、ご家族で参加してくださる方もいらっしゃいます。また、直近では留学で来られた現役生のみなさんも積極的に参加して下さっています。支部だよりをご覧のみなさまも、北京にご赴任・ご出張の際にはぜひご連絡ください。(連絡先 wechatID : ujijijji0624)



ハノイ支部

若山周平 (大 TR49)

ベトナムの首都ハノイでは、阪大外大・阪大外国語学部・東京外大の 3 大学が合同で「ハノイ外語会」として活動しています。内容としては、2 ～ 3 か月に 1 度、親睦を深める食事をハノイ市内のレストランにて開催しており、最近は「世界の味覚シリーズ」と称して、メンバーの専攻語に関連したご当地レストランを順番にアレンジして、各国の料理を楽しむ会になっています。これまで広東料理、フレンチ、スペイン料理、ウクライナ料理、そしてもちろんベトナム料理も。私の専攻トルコ語は残念ながら本格的なトルコ料理レストランがなく、やむを得ず隣国のギリシア料理のレストランになりました (それは違う! と突っ込みたくなるトルコ語関係のみなさま、お許してください...)。留学でベトナムにきている現役生の参加も歓迎しており、もちろん会費も特別料金とさせていただきます。今年、ベトナム南北統一から 50 年目を迎え、日越の交流もますます活発になり、駐在される方も増えていると伺っています。ベトナム (ハノイ) に駐在される方、また長期出張などで滞在される方は、ぜひ「ハノイ外語会」にご参加ください。

(連絡先: shu0620@gmail.com 若山)



バンコク支部

阪本法子 (開発・環境大 47)

2024 年から 2025 年前半も、タイ在住の大阪大学・大阪外国語大学同窓生の交流会、毎年恒例の東京外国語大学との合同クリスマスパーティ、ゴルフコンペ外大戦、関西 7 大学交流ゴルフコンペなど、さまざまなイベントで参加者の親睦を深めることができました。



2024 年 12 月開催の東京大阪合同クリスマスパーティ



2024 年 12 月開催の関西 7 大学交流ゴルフコンペ

また、大阪大学を含む旧帝国大学のゴルフコンペ「七帝戦」も年に 4 回ほどあり、他校との交流の機会も広がっています。

大阪大学や大阪外国語大学にゆかりのある方々を中心に、学部、国籍問わず、歓迎しております。外国語学部、基礎工学部、工学部、法学部、日本語日本文化教育センターなど、様々な組織に在籍していた方々が参加して下さり、とても楽しい会合になっています。

タイらしく、どなたでも気軽に楽しんでいただける雰囲気のおこなっておりますので、ご興味のある方は、osakagaidaibkk@yahoo.co.jp にご連絡ください。



2025 年 5 月開催の東京大阪懇親会

支部だより

イタリア支部

田中佳代子 (大 IT38)

7月上旬、前の週の猛暑が落ち着き、最高に心地よい氣候のミラノで、初めて一部のメンバーと直接集まることができました。

会場は、数年前に新しく開発された近代的でおしゃれな地区にある、居酒屋「六本木」。これまではオンラインでおしゃべりしたことはあっても、実際に会うのは今回が初めて。それでも、初対面の気まずさはまったく感じられず、大学時代の思い出やそれぞれの現在に至るまでの経歴、夏休みの予定、お子さんの最近のブームまで、話が尽きることはありませんでした。

あっという間にお店の制限時間となってしまう、場所を近くの公園に移動。蚊に刺されながらも、学生時代の懐かしい写真を見せてもらっているうちに、気がつけば時計はすでに 23 時を回っていました。

平日の遅い時間までご一緒くださった参加者の皆さま、本当にありがとうございました。

次にいつ集まれるかはまだ分かりませんが、今度はもっと多くの方が参加して、家族も含めて大人数で集まれたらどんなに楽しいだろう。。。そんな思いを胸にほろ酔い気分で帰途につきました。

|||||||支部総会・イベントのご案内|||||||

■令和 7 年 東京支部総会 *対面・オンラインのハイブリッド型

日 時：2025 年 10 月 25 日 (日) 15：00 ～ 19：00
会 場：二松学舎大学 1 号館
講演会：401 会議室、懇親会：13 階レストラン
会 費：5,000 円予定

■令和 8 年 東京支部新年会 *対面・オンラインのハイブリッド型

日 時：2026 年 1 月 10 日 (土) 15：00 ～ 19：00
会 場：二松学舎大学 1 号館
新春放談会：401 会議室、懇親会：13 階レストラン
会 費：5,000 円予定

■令和 8 年 名古屋・岐阜支部総会のご案内

日 時：令和 8 年 6 月 13 日 (土) 12：00 ～ 14：00
会 場：ホテル ルプラ王山 2F 葵
会 費：5,000 円 (和洋弁当と飲み物)
申込先：名古屋・岐阜支部長 白岩 修
TEL & FAX：052-806-7873 携帯：090-4865-8172
E－mail：shiraiwa1123@yahoo.co.jp
申込締切：令和 8 年 5 月 20 日

■愛媛支部総会

日 時：2025 年 11 月 15 日 (土)12:00 ～
場 所：松山市「老若男女食酒庵 茶家茶家」
会 費：¥3,000
連絡先：垣生携帯 /SMS 090-8286-8341
申込締切：10 月 24 日 (金)

短 信

総会出欠ハガキの短信欄からの転載です

調子 肇 (IP26)
小学校入学後間も無く支那事変 (日中戦争)、卒業前には日米戦争、中学 4 年で敗戦、大阪外専入学でやっと平和を知りました。今年、生後 95 年を迎えましたが、視力、記憶力、判断力、運動能力の急激な低下に加え、腰部椎管狭窄症を治療中。若い皆様方もこの病には気を付けて下さい。

金井 清 (E26)
近頃難聴に加え言葉が喋れなくなり、日常会話ほとんど不可能。また手が震え字を書くのに苦労しています。

小林富藏 (大 IP3)
本年 92 才となり、1 人で自宅で生活しています。

三宅正澄 (大 S4)
卒寿を過ぎましたが今のところ眼と歯以外は正常に動いています。週に 3 ～ 4 日スポーツジム通っています。

富永邦夫 (大 C5)
93 才。テレビの前の坐り涅槃の毎日です。若い時のような人間様がないということでしょうか。我ながらわかりません。ケ・セラ・セラと思わず口ずさむ時もあります。

西 俊彦 (大 IN5)
私ども在学の時代は卒業後に商社勤務するのがほとんどすべてでした。時代が変わり、学部が多様になり、実業界に出るだけでなく、学問研究を目的にする学生が育成されるコースが実現することも希望します。

中川 清 (大 S5)
「戦前大阪外語研究会会報」今年号に「多士済々エスペランティスト大阪外語・大阪外大の人々」を掲載しました。来年号に「15 年戦争と大阪外国語学校」を書きます。

小松哲夫 (大 C6)
毎朝、語学の復習をしながら九十路をゆっくり歩いて居ります。

清水重雄 (大 E6)
私の誕生日は母校の創立日の 11 月 11 日です。2024.11.11(月)で 90 才です。何とか元気です。大 E6 同期で東京地区で 5 人が 10.31(木)集まります。咲耶会総会の盛会を祈ります。

西川 統 (大 D6)
年相応に身体能力低下。それでも年 1 回のドイツリート発表会に参加して楽しんでいます。

西川 毅 (大 IP7)
足腰弱り、歩行が思うにまかせません。平地でも短かい距離しか歩けません。歳には勝てなくなりました。自分史 (家族も含め) を執筆中です。

坪井 豊 (大 TV7)
三重の太平洋に面した田舎に住み 29 年間、最近足にトラブルがあり、遠出は不可能です。都会の息のかかった同窓会の案内は出席は出来なくても嬉しいタヨリです！

芳賀直美 (大 E7)
5 人の孫が全員男の子なので結婚式に出るのが楽しみ。2 人はガールフレンドがいますからね。

神田正見 (大 C8)
昨年卒業以来初めて語劇祭を見に行きました。学生の皆さん大変熱心に演技されており、構成も演出もすばらしかったです。残念ながらもっと宣伝をして、卒業生や地域の皆さんに来てもらえればよかったなあと思います。それに観客席の折りたたみの椅子は老人にはつらかったです。

西勝幾雄 (大 C8)
今年、「米寿」と「ダイヤモンド婚」を迎えました。

西田達雄 (大 IN8)
本年度より実施の ASEAN 語科の入学定員増のこの機会に外国語学部主導にて、阪大の ASEAN 関係を統合した教育、研究の促進を期待しています。

菊井忠雄 (大 E8)
天気の良い日には健康の為、近辺を 2 時間ばかり散歩しています。

青野光裕 (大 F8)
米寿を迎え、家族 (子・孫含め) にも祝ってもらいましたが、日々健康維持には精進しております。憎まれっ子は困った者です。

應武善登 (大 S8)
今のところ元気に頑張っています。

谷 昌宏 (大 IP9)
会報をいつも楽しみに拝見しています。米寿となり一病息災奔放にくらしています。母校の変容振りに目を見張るものがあり、咲耶会の益々のご発展を祈念いたします。

中谷昌弘 (大 E9)
毎日元気に過ごしています。

石田敏夫 (大 C10)
何時の間にか望々たる後期高齢者に！昔、駐在・旅行した中国各地 (天津・青島・広州・深圳・大連・上海・蘇州・武漢・ウルムチ等々) が大変懐かしい。又、李香蘭 (山口淑子) さんが昔居た上海訪問時のユーチューブを見て、感動。

片岡利昭 (大 E10)
相変わらず下手なゴルフをやっています。

西村茂忠 (大 E10)
ラジオ体操と歩く会で体力・知力の維持に努めています。

福井紀三 (大 E10)
咲耶会名古屋支部懇親会 (4 回 / 年) に出席しています。

村岡 穆 (大 C11)
京都市内より 5℃は涼しい美山町でも今夏の暑さは格別でした。初挑戦のスイカの出来は 80 点でした。

西村文雄 (大 E11)
メンズ・カーブス (フィットネス) のトレーニング、ウォーキング、ゴルフ等で体年令が実年令より 20 才若返り 65 才になりました。日々楽しく過しており、人生で今が一番楽しい時だと感じています。

新出武雄 (大 S11)
外大グリーンクラブは、あと 2 年で創立 100 年です。母校のフルネームで活躍中です。

新井俊一 (大 IP12)
83 才で、よくここまで生きてきたなと思っていますが、一応元気です。まだ学生生活をしています。

萩原準子 (大 S12)
60 代はよく海外旅行に行っていて、イスラエルにも行ってみました。Diaspora で故郷を追われる苦しみ味わったユダヤ人が今パレスチナ人と同じ苦しみを与え、非人道的な殺戮を続けているのに世界は何もできない。やり切れない気持ちです。

樹下嘉之 (大 C13)
世界平和を願い守口原爆と戦争展を主催しています。今年で 13 回目になりました。

橋本 勝 (名誉教授 大 M13)
朔風会 (M 語同窓会)、名誉教授会の活動に携っております。極力、学会活動にも関わるよう心掛けています。日に 40 ～ 50 分程度散歩をし何とか健康維持に努めております。

高濱 昭 (大 P13)
昨年 3 月以降ほぼ 3 ヶ月毎に日本 - タイを行き来して、両国での生活を楽しんでいます。春秋は日本、夏冬はタイで過ごしています。

宮田泰雄 (大 P13)
若い時にあちこち自転車旅行したサイクリストにとって、R・L・スティープンソンの『ロバ旅行記』はバイブルのような書。For my part, I travel not to go anywhere, but to go, I travel for travel's sake. The great affair is to move. という言葉を、「私は何か目的をもって生きるのではなくただ生きるために生きる。生きる目的は生きること。大切なことは動くことだ」と読み替えて、日々体も頭も動かし続けている。

池田正夫 (大 IP14)
IP14 クラスの 8 名は 2024 年 7 月 13 日大阪でクラス会を催し、その時箕面新駅キャンパスを訪ねました。

松永秀夫 (大 D14)
年令相応に体のあちこちに支障を感じ出し、庭仕事も億劫になり乍らも何とか元気で、最近は健康麻雀に参加しています。

村上美枝子 (大 R14)
ひざ軟骨すり減って両ひざとも人工骨に入れ換えました。調子良く登山再開中です。

田中清味 (大 C15)
今年、傘寿 (80 歳) となりましたが、居住地域で日中友好ボランティア活動をライフ・ワークとして取組んで居ります。

藪 司郎 (名誉教授 大 B15)
ビルマ語を読んだり、ラジオ英会話を聞いたりしてボケ防止に努めています。散歩とラジオ体操で体力保持にも努めています。ビルマ語史の研究は遅々として進みません。

春木孝宣 (大 P15)
満 80 才になりました。後何年生きられるのか分かりません。

佐々木康治 (大 E15)
大 E15 同窓会を 24 年に続き 25.5.30 に開催予定。80 才超の面々元氣かな？私は国内外の旅、山、テニス、囲碁と忙しくしています。

村山久二子 (大 E15)
いつもお世話ありがとうございます。一日一日を大事に過ごさなければと痛感する歳となりました。2 回の手術をなんとか乗り越え、昨年秋イタリアまで習い覚えたギターを弾いて (いえ、鳴らして) 参りました。

吉田征子 (大 E15)
大先輩の短信、楽しいです。90 才半ばでお元気に生活していっしょうそのお言葉に勇気をいただきます。そして私もと嬉しくなります。

磯野和彦 (大 S15)
司馬遼太郎の明治賛美、大正無視、昭和前期の全面否定の「断断史観」への反証をライフ・ワークとして 30 年間続けています。『咲耶』での司馬賛美に呆れております。

大西秀雄 (大 E16)
特に変わりなく元気に過しております。

故 染田秀藤 (名誉教授 大 S16)
益々のご発展を祈り上げます。(2025.4.8 逝去)

片山信二 (大 C17)
ゴルフは止めたが、孫とのテニスを楽しんでいます。

戸倉光明 (大 IP17)
大阪外大 IP17 卒の合氣道部の OB です。インド・パキスタン語学科と表記していました。来年には記念ホールをお借りして、合氣道部の OB 会総会を開催したいと考えております。ご支援よろしく願います。

田中博康 (大 TV17)
元気にしております。

土森道雄 (大 TV17)
咲耶会名古屋支部総会は過去 20 年ほぼ皆勤出席。いつまで続くかな？中部地区在の皆さんご参加下さい。船場キャンパスも 3 度訪問。冬場には毎年、タイ、チェンマイ滞在 2 週間を楽しんでいます。

中川裕二 (大 S17)
卒業後、55 年。結局、箕面キャンパスにも一度も行けず、私にとって外大は上八のキャンパスしか知りません。海外生活 17 年、会社を卒業して 12 年。母校の発展をお祈りします。幹事各位にはいつもお世話になります。

村井幸子 (大 M18)
地域の居場所、ハレオンナを主催しています。

半田康彦 (大 P18)
定年退職後、ライフワークとして研究してきた中世ヨーロッパの歴史・文化の成果の一つとして、2024 年 10 月～2025 年 3 月の間、東京多摩地域の自治体連合主宰の TAMA 市民塾で講座「バルカンの歴史～エーゲ文明からオスマン帝国のバルカン進出まで」の講師を務めるなど、充実した日々を過ごしております。

森永 茂 (大 D18)
2025 年「大阪・関西万博」が 2025.4 ～2025.10 の半年間開催されます。前回、1970 年の大阪万博と同じように盛り上がり、成功することを切望します。55 年前の万博をなつかしく思い出しております。

山本 洋 (大 S18)
78 才ですが元気にしています。皆様によろしく。

米本孝夫 (大 R18)
何とか生きています。

春名 肇 (大 C19)
孫の学童・保育所のお迎えを毎日しています。整形、高血圧、泌尿器の病院通いがルーティーン。中国語の再学習を始めました。

四方陽司 (大 IP19)
外国語を使用する事が少なくなったのが、残念です。

船戸誠一郎 (大 E19)
令和 6 年 6 月 17 日 (月)、梅田から 20 分箕面船場阪大前駅へ開業記念切符は箕面市民限定。長いエスカレーターで中空広場、語学棟 3 階のランチは 13：00 まで。喫茶エリア、向かいの図書館見学、17：00 に再入棟、夕食。豪華レストラン！(石橋阪大のは上八と同じ「学食」だった)透明アクリル壁沿いのカウンターで下を眺めながら、魚フライ、みそ汁、ごはん。一般料金 380 円。次回は北大、東大メニューもあるランチ食べたい。

木下育夫 (大 S19)
後期高齢者となり「終活」を本格化していますが、今や負の遺産となった実家の田舎屋敷と田畑・山林等の処分立ち往生中です。音楽鑑賞とスポーツジム通いで富山のスローライフ生活を楽しみながら息災に過ごしています。

法橋和彦先生の思い出

大阪大学人文学研究科 外国学専攻 教授 上原順一
大阪外国語大学名誉教授、ロシア文学者の法橋和彦先生が2024年9月8日にご逝去されました。

不勉強なことに、先生が高名なロシア文学者であることを存じ上げたのは、学生時代の後半になってからでした。法橋先生の授業をもっと受講しておけばよかった、お話をうかがっておけばよかったと、悔やまれます。

ご論文で日本の作家について言及されているのを拝読して、「私も読みました」と申し上げる非才な私にもあたたかいお返事をくださいました。仕事でミスをしたときには、にっこりして「うんうん」とおっしゃいました。先生のやさしさに、どれほど救われたことでしょう。ご退職後に図書館でお目にかかった際は照れくさそうになさっていました。先生のこのお姿は忘れることがありません。

偉大な研究者でもあり、温厚な先生でもあった法橋和彦先生のご冥福を心からお祈りいたします。

物故者

令和6年7月から令和7年6月までに連絡いただき、確認がとれた方々のお名前を掲載いたしました。慎んでご冥福をお祈りいたします。

語科	氏名	語科	氏名	語科	氏名
名誉教授	池田 廉	大C38	南 敦幸	大E1	中田裕二
名誉教授	小林 恭	1N21	市村真一	大E2	森 三千男
名誉教授	染田秀藤	1N25	石川欣也	大E3	金山弥寿雄
名誉教授	法橋和彦	大1N3	佐藤幸三	大E3	三上純雄
名誉教授	舟阪 晃	大1N4	長谷謙雄	大E4	寺岡政晴
名誉教授	間瀬英夫	大1N5	打越輝雄	大E5	植原一光
C5	佐古田茂夫	大1N5	西 健	大E5	藤中藤男
C25	大藪昭郎	大1N8	喜多山寛爾	大E6	尾高壽俊
C25	杉本晃彦	大1N8	林 喜久雄	大E6	田沼弘通
大C1	田中(松川)瑠璃子	大1N15	和津田撃夫	大E6	六藤隆夫
大C2	西谷 基	大1N16	岩本武比古	大E7	磯崎浩一
大C3	安達久雄	大1N30	今谷 誠	大E7	原田 豊
大C3	梅田和男	大1P2	山本良平	大E7	古川 勇
大C3	中井 隆	大1P3	小平恒郎	大E8	屋敷 新七
大C3	松井邦芳	大1P5	岡本宏一	大E9	戸田新二
大C4	青木明生	大1P9	山口(上野)覚司	大E10	荻野(池永)多喜夫
大C4	近沢節夫	大1P10	池田 稔	大E10	田中義博
大C7	長谷川富雄	大1P11	山崎義大	大E10	小川眞一
大C10	池山正記	大1P12	山中達士	大E10	中尾満博
大C10	高野善雄	大1P18	山本次介	大E10	細見克治
大C10	松江浩次	大TV7	坂井貞之	大E11	上原康治
大C11	寺内義和	大TV8	高橋滋次	大E11	松田喜義
大C12	田中敏夫	大TV13	竹田春照	大E12	大塚英治
大C12	塚本靖夫	大TV14	片山信介	大E12	岡崎邦夫
大C12	松井 清	大TV18	増見 等	大E12	高木威彦
大C12	南 賢	大E12	諸富 脩	大E12	村上光久
大C13	橋本哲夫	A26	山崎行正	大E13	尾岡昭則
大C13	安田敬介	大A12	軸八則男	大E14	山本高司
大C14	原田豊興	大A13	浜崎昌隆	大E16	高瀬英一
大C14	吉見典生	大A20	菅野秀一	大E20	葉山英行
大C15	田中俤亮	大A40	廣瀬美奈	大E21	喜多一男
大C17	中村忠之	大P14	利藤輝夫	大E22	工藤文一
大C17	福島重郎	大P28	松井俊一	大E29	原口(松本)友子
大C18	垣花(福井)和美	E26	金井 清	大E36	高橋宏和
大C25	小林 渉	E26	林 慶夫	D25	引野秀夫
大C26	佐藤唯文	E26	由里正雄	D25	三崎 喬
大C27	桑垣正樹	大E1	笹井常三	D26	岡本 恂
大C34	有田 稔	大E1	竹中靖治	大D2	赤井慧爾

賛助金 3 口以上のご寄附をいただいた皆様に『100 年史』を謹呈

2021 年の創立 100 周年記念事業として刊行された『大阪外国語大学・大阪大学外国語学部 100 年史 写真で振り返る 100 年』を賛助金 9,000 円 (3,000 円× 3 口) 以上ご寄附いただき、入手ご希望の方に謹呈いたします。ただし、先着 100 名様。ご希望の方は、振込用紙にその旨をご記載ください。詳しくは、咲耶会 HP をご覧ください。

染田秀藤先生を偲んで

大阪大学人文学研究科外国学専攻 教授 中本 香
2025 年 4 月 22 日、大阪大学名誉教授の染田秀藤先生が逝去されました。染田先生は大阪外国語大学の卒業生であり、また教員としても、昭和52年から平成19年10月までの約 30 年間同大学で教鞭をとられた、私たちの偉大なる先輩でした。大阪大学との統合に伴い人間科学研究科の教授となられてからも、最後まで「私たち(大阪外国語大学卒業生)」の恩師でした。

ラテンアメリカ史、アンデス史研究における染田先生のご功績は私ここでご紹介するまでもなく、膨大な史料の緻密な分析に基づくご研究は、日本にとどまらず世界でも高く評価されています。染田先生が特に情熱を注がれたラス・カサス研究は、ラテンアメリカ征服史・植民地史研究に新たな道を切り開くと同時に、ヨーロッパ中心主義的歴史観に対して重要な問題を提起するものでもありました。

このように研究者としての威厳に満ちた存在でありながら、学生にとっては親しみやすく、染田先生の研究室はゼミ生たちの笑いで溢れていました。先生の研究室のドアにかけられた、Café Someda の看板がとても懐かしく思い出されます。染田先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

語科	氏名	語科	氏名	語科	氏名
大D3	小出 惇	大S2	松永和泰	開発大46	市原忠士
大D4	村上謙吉	大S3	岡本博行	阪大U3	宮下雄光
大D5	深谷芳衛	大S3	長谷川匡則	短C2	近藤 明
大D6	河上秀夫	大S4	織田利彦	短E1	井上(馬場)章之
大D6	曾田廣治	大S4	勝峰 昭	短E3	高田秀雄
大D6	保田武司	大S4	高木裕昭	短E4	村上多聞
大D8	堺 啓甫	大S4	木下(渡辺)昭男	短E6	櫻谷博美
大D10	尾子 明	大S5	岩谷武彦	短F2	高津昭生
大D11	水尾 温	大S7	滝本和成	短F3	奥間博基
大D13	門脇 徹	大S8	志武善登	短S1	北浦義夫
大D14	池本征一郎	大S9	須永国夫	短S5	西川 満
大D14	木戸弘之	大S9	西澤 清	短S7	林 享
大D15	奥村哲夫	大S9	山田昶一	ⅡC21	道向好明
大D15	友永輝比古	大S9	米戸和彦	ⅡE2	山下 勉
F26	塚原龍夫	大S10	中田公司	ⅡE3	広野一博
大F1	奥村 典	大S11	田原義徳	ⅡE3	和田三枝子
大F1	田中義博	大S11	堀田正次	ⅡE8	大田 肇
大F1	佐藤(藤田)保子	大S12	川上礼司	ⅡE12	前田静男
大F4	糸井康雄	大S14	木道俊一	ⅡE13	楠本孝夫
大F4	三好憲治	大S14	後藤勇治	ⅡE13	酒井久枝
大F5	原田 修	大S15	中村光宏	ⅡE15	上野朱美
大F6	丸尾 隆	大S15	渡辺正之	ⅡE30	八橋公治
大F6	吉本 稔	大S23	石川(内田)知草	ⅡD13	長坂淑子
大F8	川岸 清	大S23	四十万 聡	ⅡD17	森川 晃
大F9	岸 悦三	R25	江草弘道	ⅡS12	松岡雅彦
大F9	高倉信雄	R26	切明 慧	R16	福田孝一郎
大F10	太田紀夫	大R4	長本喜夫	R17	黒子弘一
大F10	中堀浩和	大R4	水田淳三	比較夜30	岸本つな子
大F10	中堀(若槻)禎子	大R7	安永俊一郎	国際夜32	石井ひとみ
大F12	野口一治	大R9	平岡常男	南欧夜S39	中尾芳和
大F13	板倉信吾	大R11	金(金城)千石	北米夜E36	広井康延
大F13	宇野晃吉	大R14	前田 毅	中南米夜S39	姉崎正治
大F14	福田(綾木)操	大R15	向(楠本)佳江	院A11	藤井章吾
大F15	高橋二郎郎	大R16	米山蒼子	院DM19	土井(山本)圭子
大F27	大森利和	大R17	小林寛之	院J17	駒田 聡
大F30	中本(福原)愛子	大R19	赤田克美	院前Aメ7	牧原(高森)理絵
S26	澤野井富夫	大R22	山田多賀雄		
大S2	田邊壽夫	大R25	堤 雅昭		

2025 年版「同窓生名簿」まもなく刊行します

※ 母校設立以来の同窓生 5万人以上を収録

10 月刊行、購入予約をされていない方でも、咲耶会会員であればご購入いただけます。ご希望の方は咲耶会事務局までご連絡ください。(Tel 072 - 728 - 2327)

在学生会員の方には、就職活動等にご活用いただけるよう、無料で進呈いたします。会員証をご持参の上、事務局までお越しください。(月、木の 10：00 ～16：00)

頒布価格：7,000 円 賛助価格：10,000 円

年会費支払者・賛助金寄付者一覧

C25	中井康夫	大C35	塩谷和久	大C35	多門美穂	大C35	中嶋 秀	大C35	前田(南部)陽子	大C35	西邑一美	大C35	堀 健一	大C35	森脇重光	大C36	石光 猛	大C36	熊谷(小野)晃子	大C36	加藤敬介	大C36	森 美穂子	大C37	河本高枝	大C37	濱田久美	大C38	西田(紫藤)崇代	大C38	牟禮(辰巳)朋子	大C39	池山良太郎	大C39	櫻尾(櫻木)季美	大C39	長岡義博	大C39	棚田(原田)由紀子	大C40	島村(河野)多鶴子	大C40	藤田法子	大C40	神田(牧川)友美	大C41	大坪敦司	大C41	山内(竹裏)智恵	大C42	阿古智子	大C44	山岡(太田)あかね	大C45	千田(伊東)理恵子	大K16	前田征信	大K17	瀬古邦子	大K19	浦嶋義則	大K19	王 寛一	大K21	畑山康幸	大K22	宇佐美直道	大K23	芦田 進	大K24	鈴木光男	大C15	吉村(池田)澄代	大C15	森本(石川)美佐子	大C15	岩本洋之	大C15	藤原(植松)美智子	大C15	大水 勇	大C15	成瀬龍夫	大C15	藤原直雄	大C15	守屋 求	大C15	若林道明	大C16	河田梯一	大C16	高城丈夫	大C16	中土浩治	大C16	紅谷有二	大C17	河原 清	大C17	野口忠夫	大C17	山本恒人	大C18	井上尚弘	大C18	田中英二	大C19	白銀 洋	大C19	春名 肇	大C19	松野賢二	大C20	一宮義久	大C20	辻野六郎	大C20	服部健治	大C20	筆本能行	大C21	名和(木村)真弓	大C21	巽(小林)良生	大C21	名和又介	大C22	内野 勉	大C22	呂(王)英成	大C23	朝倉潤真	大C23	川口 洋	大C23	村田(吉田)隆禪	大C24	小野善史	大C24	岡田(塩野)光子	大C24	仲畑尚敏	大C24	福富奈津子	大C25	徳永敏夫	大C25	水谷明雄	大C26	井上俊治	大C26	杉田欣二	大C27	繁本孝一	大C28	井上俊二	大C28	堀内宗隆	大C28	雪原(李)一人	大C29	沖田(近藤)康代	大C29	多田(吉田)本子	大C31	塚本(井上)貴恵	大C31	植田泰史	大C31	角岡賢一	大C31	井上(高橋)順子	大C32	岸本あかね	大C33	森井健之	大C33	渡部一雄	大C34	赤松秀樹	大C34	鶴澤(遠藤)由紀子	大C34	竹中俊穂	大C34	森下圭造	大C34	山田秀一	大C35	二河(井上)ゆかり	大C35	満原(上野)逸子	大C35	小川雅美	大C35	池端(鹿島)智美
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	----------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	----------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	----------	------	----------	------	-------	------	----------	------	------	------	-----------	------	-----------	------	------	------	----------	------	------	------	----------	------	------	------	-----------	------	-----------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	----------	------	-----------	------	------	------	-----------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	----------	------	---------	------	------	------	------	------	--------	------	------	------	------	------	----------	------	------	------	----------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	---------	------	----------	------	----------	------	----------	------	------	------	------	------	----------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	-----------	------	------	------	------	------	------	------	-----------	------	----------	------	------	------	----------

大1N12	内原正司	大1N12	澤井佳一	大1N12	品川辰弥	大1N13	宮崎衛夫	大1N13	森岡義典	大1N13	横田義明	大1N14	沖 政夫	大1N14	鈴木安夫	大1N14	土尾克己	大1N16	広瀬(山田)加代子	大1N17	西川欣二	大1N18	床次泰文	大1N18	柳沢長四郎	大1N19	野崎淳一	大1N19	森 和夫	大1N20	佐伯 孝	大1N20	塩見 澄	大1N22	阿部(宇坪)直子	大1N23	石丸誠一	大1N23	丹羽慎吾	大1N23	勝原(藤沢)紀美代	大1N24	廣澤義幸	大1N25	大角幸彦	大1N25	林内(高田)典子	大1N26	中村由実	大1N26	阿部(藤本)祐子	大1N27	安藤律男	大1N27	大野 泉	大1N27	須田(坂元)和	大1N27	竹田啓治	大1N28	赤橋(井上)由美	大1N28	下谷正道	大1N28	松本(西村)雅子	大1N29	下野正一	大1N29	道幸静児	大1N29	南野忠之	大1N30	北野 忍	大1N30	清水忠弘	大1N30	藤本知之	大1N31	LOVE(増田)尚子	大1N32	砂取敬一	大1N32	齋田譲治	大1N34	西川(今井)まさき	大1N35	小西浩史	大1N38	山下千晶	大1N39	山崎(田中)美穂	大1N40	金子敦子	大1N41	土屋裕美子	大1N42	竹前(小林)望美	大1N42	岡田(森)真理	大1N43	植田 淳	大1N44	藤原(田中)佳織	大1N45	武田(平松)祐子	大1N45	奥稻雅茂	IP25	松永通温	IP26	調子 肇	IP26	中島宏二	IP27	竹内玉蔵	大1P3	小林富蔵	大1P4	辻 昌之	大1P5	谷本幸夫	大1P6	炭谷陽吉	大1P7	西川 毅	大1P8	藤本清志	大1P8	増田次郎	大1P9	田中 勝	大1P9	谷 昌宏	大1P10	大西章文	大1P10	大根瑞穂	大1P10	久保幸三	大1P10	高 康治	大1P10	濱口(東岡)恒夫	大1P11	大湊幹郎	大1P11	澤田眞一	大1P11	中本 登	大1P11	和田(渡辺)幸子	大1P12	長谷川憲一	大1P13	奥平龍二	大1P13	坂口嘉一	大1P13	中村佳永	大1P13	日比敏夫	大1P13	溝上富夫	大1P14	池田(伊藤)正夫	大1P14	坂口捷男	大1P14	須田悦生	大1P15	竹内俊一	大1P15	別所宏昭	大1P16	稲岡俊一	大1P17	戸倉光明	大1P17	諸川(村井)正子	大1P18	中川(谷)みさほ	大1P18	森 修三	大1P18	林 信夫	大1P19	四方陽司	大1P20	原田幸次	大1P20	横山節夫	大1P21	上原 修	大1P22	小野俊一	大1P22	秦 智
-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	-----------	-------	------	-------	------	-------	-------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	----------	-------	------	-------	------	-------	-----------	-------	------	-------	------	-------	----------	-------	------	-------	----------	-------	------	-------	------	-------	---------	-------	------	-------	----------	-------	------	-------	----------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------------	-------	------	-------	------	-------	-----------	-------	------	-------	------	-------	----------	-------	------	-------	-------	-------	----------	-------	---------	-------	------	-------	----------	-------	----------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	----------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	----------	-------	-------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	----------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	----------	-------	----------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	-----

大1P24	小幡良介	大1P25	笹山喜市	大1P26	瀧野真咲	大1P26	中村隆雄	大1P27	白水和恵	大1P27	神野(杉野)弘美	大1P27	堤 昌昭	大1P28	神田(饗庭)良江	大1P28	片山 真	大1P28	中村(久保)美由紀	大1P28	竹村(鈴木)康子	大1P28	新井(沼井)君子	大1P29	永谷 勉	大1P30	川上 薫	大1P30	ロビンソン(児玉)エデラ	大1P30	木本(鈴木)絹子	大1P30	中道淳一	大1P30	園山 望	大1P31	豊田(小田)美津子	大1P31	三木雄一郎	大1P32	大橋廣美	大1P32	若狹(岡田)みどり	大1P32	田中栄次	大1P34	桑林浩治	大1P34	辻 裕紀夫	大1P34	中江加津彦	大1P35	高瀬竜一郎	大1P36	桐生(細川)正弘	大1P37	斉藤(有田)ユカリ	大1P37	大石(橋本)なつ美	大1P37	松山弘一	大1P38	佐々木雅彦	大1P38	内田(宮崎)広江	大1P38	原田(岩根)明美	大1P38	上床真弓	大1P38	高尾 誠	大1P38	山中(辻)博弥	大1P38	高尾(藤林)節子	大1P40	前田健二	大1P40	中西勝弘	大1P41	西村昌也	大1P41	秋山(藤本)和美	大1P42	池田(伊藤)由佳	大1P42	石川(神吉)浩子	大1P42	佐藤弘幸	大1P43	今井久美子	大1P43	寺井(佐伯)知恵	大1V7	坂井貞之	大TV11	西沢毅彦	大TV13	敦賀弘隆	大TV15	請田裕史	大TV15	西内 顯	大TV15	水瀧美智也	大TV17	土森道雄	大TV17	藪 庄治郎	大TV18	田口 進	大TV18	宮川(矢上)季子	大TV20	宮崎 薫	大TV21	崎山 誠	大TV22	西村朋也	大TV24	川村芳範	大TV27	李 姬子	大TV28	西村俊一	大TV29	川村優理	大TV30	磯部英美	大TV30	田中美穂子	大TV31	内山博貴	大TV31	國頭(山崎)加代子	大TV32	野津幸治	大TV32	堤中晴美	大TV33	田島啓行	大TV33	村岡貴子	大TV34	長田義行	大TV34	西尾全司	大TV34	三上 聡	大TV36	寺田(本多)美貴子	大TV36	村上忠良	大TV36	安井久子	大TV38	岡野明子	大TV40	三田(中西)初音	大TV42	木下晶子	大TV42	佐藤智子	大TV42	吉田健一	大TV44	岡松由理香	大B4	宮井二朗	大B8	小坂寿幸	大B8	藤原史和	大B12	塚本(資延)泰子	大B15	大重昭子	大B15	前田義隆	大B15	藪 司郎	大B18	南田(井上)みどり	大B18	森 修三	大B19	小野(笹田)嘉久	大B19	田中茂明	大B22	高城 豊	大B22	南 信夫	大B26	館山英昌	大B27	村端(田部)佳子	大B27	谷口雅俊
-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	----------	-------	------	-------	----------	-------	------	-------	-----------	-------	----------	-------	----------	-------	------	-------	------	-------	--------------	-------	----------	-------	------	-------	------	-------	-----------	-------	-------	-------	------	-------	-----------	-------	------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	------	-------	-------	-------	----------	-------	----------	-------	------	-------	------	-------	---------	-------	----------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	----------	-------	----------	-------	----------	-------	------	-------	-------	-------	----------	------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	------	-------	----------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	-------	-------	------	-------	-----------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	-----------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	----------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	-------	-----	------	-----	------	-----	------	------	----------	------	------	------	------	------	------	------	-----------	------	------	------	----------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	----------	------	------

大B27	松島勇治	大B34	山本(山本)和子	大B35	藤田(北郷)由加理	大B36	小山 淳	大B36	本田頼子	大B37	澤下くろ美	大B37	藤倉麻美	大B38	倉本和寛	大B38	野口千恵	大B39	岡村雅司	大B40	秋山達也	大B40	前川(坂口)正子	大B40	植草(竹村)美香	大B43	大江(小林)昌子	大A8	河野利一	大A12	坂本 勝	大A13	海東 泰	大A14	森 滋	大A15	塩尻 宏	大A15	塩尻
------	------	------	----------	------	-----------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	----------	------	----------	------	----------	-----	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	----

年会費支払者・賛助金寄付者一覧

年会費のお支払い、賛助金のご寄付ありがとうございました。

※ は年会費と賛助金の両方を納入いただいた方です。ご協力ありがとうございました。

大E8 清水正治	大E32 中路 亨	大D43 岡部(中原)夕紀	大F37 小島(田中)典子	大S19 小林士郎	大R15 田原佑子	開発大54 若宮 武	南欧大S48 中村聖史	阪大S5 立川早織	II F25 整本昌孝
大E8 竹中 弘	大E33 石井和夫	大D44 山口 壮	大F37 松尾孝治	大S19 根田 忠	大R15 渡辺 昭	開発大58 川上(山島)あゆみ	南欧大S58 松村 諒	阪大S5 西村優希	II F28 植田初江
大E9 網本保策	大E33 秋田(泉)佳子	大D45 村上智哉	大F37 藤野(松村)富美	大S19 諏訪忠泰	大R18 海老名健司	大C45 老老名健司	南欧大S59 中川一樹	阪大S8 鹿野真史	II F29 河北隆一
大E9 大崎昭三	大E33 宮本(梶浦)直子	大D45 山口美穂子	大F39 中川 恵	大S20 芦田正裕	大R18 尾藤義弘	大C46 川越宗一	南欧大PB48 野村 塁	阪大S9 松井侃希	II F29 山村友彦
大E9 加嶋廣繁	大E33 敬岡(中川)栄子	大DM18 荒木和夫	大F40 赤崎(川路)裕子	大S20 岩城邦夫	大R18 渡邊昌彦	大C46 栃木(長江)衣佐子	南欧大PB55 中野百合	阪大S11 山根隼人	II S1 山川太三
大E9 住江 漢	大E33 畠田(西浦)加奈	大DM18 村井(外村)幸子	大F40 藤原(城口)智子	大S20 岡本 修	大C47 塚本松枝	大C47 三浦(松村)彩	北米大E47 伊東大輔	阪大PB2 山本(鈴木)友規	II S2 藤谷(貫洞)康代
大E9 中谷昌弘	大E33 西田純子	大DM20 宮辻政夫	大F43 中家 渉	大S20 下郷義男	大R20 稲富哲夫	大C49 飯塚美樹	北米大E47 高橋光男	阪大PB3 町屋瑠璃	II S4 中川浩二
大E9 縄田(縄田)洋子	大E34 高村洋一	大DM21 吉瀬正一	大F43 矢加部 桜	大S20 田中清二	大R20 吉瀬恵助	大C49 奥田英幸	北米大E47 中谷信彦	阪大PB5 杉本(小松)暲	II S4 八野雅博
大E9 芦澤(森)幸子	大E34 多田昌美	大DM23 草野 徹	大F45 吉開秀勝	大S20 東井和世	大R21 猪俣幸治	大C50 佐野(黒竹)淑子	北米大E47 森川(前田)晃江	阪大PB7 坂井敦平	II S6 桃井(北川)みち子
大E9 孝橋(吉田)明子	大E34 市原(安原)修	大DM24 中島裕司	大I T16 長谷川淳三	大S20 村中敏則	大R21 岸本直己	大C50 石崎浩司	北米大E48 空井孝憲	阪大J3 橋高めぐみ	II S7 藤井広徳
大E10 大西駿二	大E34 檜垣(山本)美保	大DM25 若松(後藤)君子	大I T19 名波谷吉則	大S21 石崎新一	大R21 中村友則	大C53 山口大輔	北米大E54 清水(張)君恵	阪大J4 平田(石田)絵美	II S10 近藤哲二
大E10 片岡利昭	大E35 明吉正知	大DM25 新谷俊裕	大I T20 谷尾(白土) 裕子	大S21 村中(大山)明美	大R21 土屋広志	大C54 日比野正之	北米大E55 水谷(石村)文	阪大J8 西畑宏紀	II S11 西井禎一
大E10 高野益行	大E35 堀尾朋代	大DM25 杉原多二雄	大I T20 永田(高橋)典子	大S21 加藤直樹	大R22 幸田正章	大C56 大井野正之	北米大E55 大汐健太	阪大J11 下本有美香	II S12 浅井延亮
大E10 丹野哲男	大E35 吉井誠二	大DM26 津金倫明	大I T20 山岡 哲	大S21 杉本重雄	大R22 幸田正章	大K45 有家幸伸	北米大E56 筒井真実子	阪大J11 田中伶弥	II S12 米田明正
大E10 荒木(新田)泰子	大E37 片田(生野)千栄	大DM27 宮嶋京子	大I T21 藤村(朝長)典子	大S22 足立明洋	大R22 中村(榎木)咲子	大K48 朝長 綾	中南米大S50 谷口(福島)由樹子	阪大J12 東出彩音	II S14 川井芳
大E10 福井紀三	大E37 梅迫(池辺)陽子	大DM28 梅田良和	大I T21 永田一恵	大S22 岡田陽一	大R23 二神(阪本)美枝子	大M45 森久栄子	中南米大S51 青木俊道	阪大J12 泉 清二	II S15 仲谷喜代子
大E10 細川清秀	大E37 浅野(白井)元子	大DM29 両角(乾)多可乃	大I T21 永野雄造	大S22 轟 俊一	大R23 汐崎啓子	大M47 吉永(今川)美由紀	中南米大S51 坂本啓之	短E3 佐々木淳子	II S17 後野英明
大E11 石原 了	大E37 小川(真崎)文香	大DM29 鋸持敏朗	大I T21 松木(横手)美知子	大S22 岡田 毅	大R23 舟木三千男	大M47 竹本展之	中南米大S58 笠原実桜	短E4 平井修三	II S22 櫻本寿之
大E11 弓庭(大景)喜和子	大E38 金野(岩井)千春	大DM29 両角信幸	大I T22 栗野修司	大S23 井上 明	大R23 舟木三千男	大M47 竹本展之	中南米大S58 笠原実桜	短E6 生水通子	II S23 植田和彦
大E11 木戸淑夫	大E38 平田朋絵	大DM30 鍛冶(泉)裕子	大I T23 井岡(岡田)泉	大S23 児玉益夫	大R23 樽井(前田)一仁	大IN46 佐々木(服部)志津香	中南米大PB55 松本雅治	短E2 吉賀昭良	II S23 森田(北尾)文枝
大E11 柴山幸彦	大E38 古本剛之	大DM30 清浦(稲井)みどり	大I T25 西村(小松原)秀也	大S23 石崎雅直	大R23 山口雅彦	大IN49 下條和弘	中南米大PB57 海住知里	短D6 疋田 武	II S25 平山國代
大E11 中川 隆	大E38 横瀬克之	大DM30 平岡(木下)恵津子	大I T28 松宮良衛	大S23 長野 稔	大R23 吉田雅美	大IN51 藤田(木塚)裕子	阪大C3 河野直也	短D7 和田幸浩	II S25 六角みよ子
大E11 西尾 齊	大E39 丹生恵一	大DM30 奈良岡(松田)明子	大I T29 吉川(鴨井)由香利	大S23 白鳥(山根)由美子	大R24 白鳥(山根)由美子	大IN52 鹿村(井上)和美	阪大C6 橋橋広基	短F5 豊田昌彦	II S27 菊本孝一
大E11 西村泰作	大E39 吉本憲司	大DM32 荒瀬規之	大I T29 辻田(武村)敦子	大S23 山下裕己	大R25 水池亮一	大PH46 由岐中俊夫	阪大C7 福田(増永)結衣	短S2 佐竹節寛	II R2 藤井 誠
大E12 梅田一徳	大E40 村田(木津)育子	大DM32 松野(於勢)世央子	大I T29 大路(古川)美文	大S24 東 雄二郎	大R25 山本(横井)はるみ	大PH47 山本(寺岡)智代	阪大C7 満仲陽平	短S2 観月浩慈	II R4 古市幸治
大E12 大原逸夫	大E40 蝶野研二	大DM32 眞浦まゆみ	大I T30 橋本誠司	大S24 岡本隆宏	大R26 水野茂樹	大PH48 守屋(萩原)みずほ	阪大C8 近藤怜奈	短S3 矢島哲也	II R6 三木 健
大E12 中村明人	大E40 野上(森田)麻理	大DM33 中村一也	大I T35 大衆景子	大S25 中村一博	大R27 水木 弘	大PH49 塩野泰章	阪大C8 齊藤涼花	短S4 峯松(川上)順江	II R11 中津川伸一
大E12 長谷川 清	大E41 佐々木愛	大DM35 近藤昌史	大I T35 福井 浩	大S26 水越 勉	大R27 渡邊俊洋	大PH52 高橋啓介	阪大K5 溝口菜津美	短S4 太原(林)好子	II R13 中山英次
大E12 米田 堅	大E41 井川(中村)千穂	大DM35 櫻田直利	大I T37 吉田(林)孝子	大S26 尾藤(長谷川)とよ子	大R28 濱中(井原)富久枝	大PH56 美馬香都子	阪大K7 岡田果歩	短R2 春名(比嘉)邦子	II R14 石原光博
大E13 尾関昭則	大E42 田中裕幸	大DM35 高橋真理	大I T39 稲本 淳	大S26 湯本(山根)名美子	大R28 岩崎公徳	大T45 西條(平尾)由美子	阪大M1 井上(長谷川)奈美	短R5 林(岩田)省治	II R4 尾崎 茂
大E13 小林一之	大E42 松原陽子	大DM35 久坂裕一	大I T39 佐々木(齊藤)圭子	大S27 植田(千馬)友子	大R28 村尾(高橋)弘子	大T53 鹿村(千馬)友子	阪大M4 新井脩平	短S1 幸 英隆	II R15 宮前和明
大E13 出口健治	大E43 植田壮彦	大DM36 大森久美子	大I T41 信田(田邊)阿芸子	大S27 鷲津温子	大R28 和田(谷澤)園子	大V48 高田(寺田)久美子	阪大M7 千島奈々	短I2 福島勝彦	II R26 日野文広
大E13 横山憲次	大E43 田中 薫	大DM36 片田 聡	大S1 手塚 浩	大S28 高澤(棘)晴美	大R28 進藤(藤)喜子	大B45 井立(中山)由貴子	阪大M8 大橋花帆	短I6 幸谷隆資	言語夜30 吉野次
大E14 太田治男	大E48 笹川廣和	大DM36 戸田陽子	大S1 吉田秀太郎	大S28 上田恭子	大R28 竹森(森川)真紀	大B57 久我勇人	阪大M8 岸田直昂	短I2 田中(河合)増子	言語夜36 柳生重俊
大E14 奥西保彦	大D6 金加行雄	大DM38 草間(北原)雅子	大S1 吉田秀太郎	大S28 小田真奈美	大R29 大飼(阿原)祐子	大H52 丸山(玉置)寿奈	阪大M13 矢野 葵	短I2 下山隆彦	比較夜30 峯松(大河内)圭子
大E14 佐藤元信	大D3 高岸芳郎	大DM40 伊藤晴彦	大S3 竹内 信	大S28 辻 泰弘	大R29 織田博文	大H59 山床(山本)涼香	阪大IN5 野尻優子	短I3 三村 勝	比較夜32 後藤勝徳
大E14 田中昭一	大D4 深見 茂	大DM41 石黒 暢	大S4 竹原順三郎	大S28 秋本(林)博子	大R29 川辺 亮	大U45 中安貴美	阪大PH10 福島麻奈美	短I4 西村誠志	比較夜34 猪本千秋
大E14 黒田(真屋)好子	大D5 埴地敏則	大DM41 川方垂紀	大S4 本多祥二	大S28 佐藤(松永)美子	大R29 三浦 実	大U46 多喜大祐	阪大PH11 西尾絵里	短I4 早稲田良彦	比較夜35 小山郁江
大E14 渡辺(山田)麗子	大D5 西 彰	大DM41 桜井(渡辺)史子	大S4 三宅正澄	大S29 加来由美子	大R31 中本(川崎)浩美	大U54 高石(松田)果奈	阪大T5 堂前佑輔	短I6 植田(樋口)博子	比較夜37 東 清司
大E15 伊東昭廣	大D6 川田 統	大DM43 井形(原田)真理子	大S5 中川 清	大S29 北村和子	大R31 中村雅彦	大U58 若原なつ子	阪大T8 北野成美	短I6 村上大洋	夜C28 野田(廣田)祐子
大E15 下川(瓜生)紘子	大D7 瀬戸優和	大DM46 山本桂子	大S6 稲永丈夫	大S29 斉藤達郎	大R32 浦塚敏彦	大A46 野嶋(今田)香織	阪大T9 前田愛実	短I7 岡野晃次	夜C32 岩永浩一
大E15 佐々木康治	大D8 堺 啓甫	大F1 赤木(浅野)富美子	大S6 今西統彦	大S29 片桐(龍田)真美	大R32 竹内 浩	大A46 堀尾明子	阪大T11 瀬口あやこ	短I7 藤井幸一	夜C32 堀澤良充
大E15 井上(富田)泰子	大D8 望月敬三	大F1 佐藤(藤田)保子	大S6 木村義彦	大S29 福嶋 寛	大R32 中松基史	大A57 高橋留唯	阪大V6 有馬崇矢	短I7 吉田法明	夜C40 川上裕央
大E15 長尾和壽	大D9 鈴木庄太郎	大F2 高輪 琢	大S6 田中博一	大S29 岡本(宮崎)晶子	大R32 橋本晃壮	大P47 盛岡(市野)雅恵	阪大V7 菱川裕人	短I8 南側弘之	夜R31 中陳(西)尚子
大E15 松本 博	大D10 石本皓一	大F5 土井康夫	大S7 松近輝一	大S30 梅澤美香子	大R33 小林卓郎	大P56 有竹由加里	阪大B5 越智弘記	短I20 古川季靖	夜R32 楠(平井)晶
大E15 山形幸彦	大D11 木村 豊	大F5 野田隆一	大S8 石原正紀	大S30 恵崎政裕	大R33 西村(後藤)加代	大P56 櫛垣由起子	阪大B12 原田恭花	短I21 小島(中尾)紀代子	夜D37 津田洋平
大E15 吉田征子	大D11 村主寧民	大F6 武田富男	大S8 志武善登	大S30 小松正伸	大R33 島田英明	大P59 今吉(番匠)未来	阪大H11 渋谷 遥	短I22 今村増徳	中北欧夜E30 小原越史
大E16 浦田 宏	大D11 中川 幸	大F6 吉本 稔	大S8 益田(川崎)喜彰	大S30 高田雅也	大R34 山田祥子	大P60 竹田 純	阪大H11 高野 航	短I22 広川由美	中北欧夜E30 富永(鄭)真己
大E16 今城(小田)八洲子	大D11 松本(本多)ヒロ子	大F7 酒井 斌	大S8 川添義隆	大S31 池田(森本)光美	大R34 藤本敦明	大R46 堤 将洋	阪大U3 有年孝将	短I26 宮尾 勝	中北欧夜E31 林 晋作
大E16 小林正受	大D12 安東英明	大F8 西代雄四郎	大S8 清水忠彦	大S32 東村誠司	大R34 宮永祐子	大R50 岡本純典	阪大U6 内田宇彦	短I27 瀧本文治	中北欧夜E41 山本智恵美
大E16 塩崎英明	大D12 本田陽太郎	大F8 福知 忍	大S8 塚本修造	大S32 蓬萊 淳	大R35 西 正重	大R50 榎本純典	阪大U6 小笠原綺杏葉	短I28 常 義宏	南欧夜S35 丹羽由衣
大E16 津田雄三	大D14 木本泰臣	大F9 中橋千秋	大S8 三宅 敬	大S32 牧本成俊	大R36 松本保保	大R51 上邊野 雄	阪大A2 藤井(坪本)奈緒美	短I29 瀧本文治	南欧夜S36 宇谷直樹
大E16 山本(根尾)和子	大D14 波多江寿昭	大F9 長縄正治	大S8 和田 衛	大S32 名賀比佐雄	大R37 山村浩之	大R57 岡井(和田)有里子	阪大A3 三倉 南	短I28 常 義宏	南欧夜S43 吉村卓也
大E16 市川(波多野)美香子	大D14 松永秀夫	大F9 南野 均	大S8 和田 衛	大S33 久保田(我孫子)昌榮	大R38 風間 斉	大R60 若林直樹	阪大A5 倉場基行	短I29 堂山綾子	中南米夜S29 有澤恭子
大E16 井上晶二	大D15 岡田三郎	大F9 南野 均	大S9 早川幸夫	大S33 戸山(内匠)令子	大R38 鎌田(谷坂)由美	大SH45 青山佳世	阪大A12 野口紘穂	短I2 野村信二	中南米夜S41 植本(北村)かおり
大E18 小野田裕司	大D15 奥村尚武	大F10 犬飼猛夫	大S9 原 秀雄	大S33 本井秀樹	大R38 森田朋宏	大SH46 窪田(金子)明香	阪大P7 齋藤和富	短I2 後藤(吉村)まゆみ	院C12 青野繁治
大E18 坂本俊弘	大D15 丸尾宏昭	大F10 木村(木村)道子	大S10 大西昌三	大S34 筒井(古賀)圭子	大R43 三島(小原)桃子	大SH46 花畑(立田)知子	阪大P9 上地尚樹	短I3 杉下達也	院C15 谷川 毅
大E18 竹田(中川)郁子	大D16 丸井昌宏	大F11 大西 弘一	大S10 今川(一見)彰男	大S34 筒井(古賀)圭子	大R43 シャー(柴田)恵	大SH48 新田孝太郎	阪大P9 関 元奎	短I3 茂木(土屋)文子	院C20 前田(中嶋)久恵
大E19 岡嶋正雄	大D17 春名幹男	大F12 水野正明	大S10 川瀬光彦	大S36 岩井 崇	大R43 平野(杉江)友美	大SH49 向本(七樂)正子	阪大TR2 上野仁嗣	短I8 土佐弘二	院C28 芦木通保
大E19 丸尾(久我)真知子	大D18 岡岡寛治郎	大F12 藤村治郎	大S10 西川 進	大S36 鈴木正士	大R45 飯井 巧	大SH50 足立尚哉	阪大TR3 栗林佑貴恵	短I8 西田達昭	院C27 高橋 学
大E19 松見(田中)淳子	大D18 津田眞人	大F15 猪口教行	大S10 東谷頼人	大S37 伊藤(鈴木)和子	大J41 大下(植木)佐和子	大SH55 田上未紗	阪大TR3 野口紘穂	短I9 大西 有	院TV29 山本(櫻井)理恵
大E19 船戸誠一郎	大D19 大塚敏雄	大F15 成願紘一	大S10 村上 治	大S37 大田(飯田)祐子	大J41 横山(宮)早苗	大SH58 西脇大史	阪大TR7 神谷(山本)瑞穂	短I9 大西 有	院P13 高橋 明
大E19 守井一正	大D19 白岩 修	大F15 加藤(中野)豊子	大S10 八木三木男	大S37 石倉 博	大J42 高橋康浩	大SH59 片山夏紀	阪大SH4 川村山日香	短I9 黒木一吉	院P19 山根 聡
大E19 山口弘務	大D20 新庄達吉	大F17 石井省三	大S11 庵原専三	大S37 明吉(高野)里子	大J43 福岡(加藤)純子	大R46 南川(中西)美代子	阪大SH8 川上 凌	短I9 斉藤雄司	院A3 竹田 新
大E20 阿部周治	大D21 飯尾勘一郎	大F17 楠田和子	大S11 岡本耕蔵	大S37 河田(濱田)明代	大J43 高橋 彰	大R48 瀧嶋(岩江)純枝	阪大SH8 塩井奈奈	短I11 宮本(高山)賀代	院A22 竹村景子
大E20 小泉(稲山)明紀子	大D21 杉浦敏廣	大F17 高木政広	大S11 小畑克之	大S37 相築(武藤)美奈子	大S37 織田清子	大R54 植原若雄	阪大SH10 上原(藤原)利里香	短I12 小島島陽子	院P12 藤元(香川)優子
大E20 交野正隆	大D22 石野(高竹)伸子	大F17 田原 明	大S11 河合次郎	大S38 杉野(黒川)成美	大S37 相築(武藤)美奈子	大R54 野澤千佳子	阪大SH11 小林大樹	短I12 熊野誠治	院P27 竹原 新
大E20 須藤真一	大D22 村田正芳	大F17 中村 功	大S11 新出武雄	大S38 安居さやか	大S37 相築(武藤)美奈子	大H46 岩崎昌平	阪大SH12 藤井由乃	短I14 栗津昌宏	院D7 楠根重和
大E20 永田雅治	大D22 小笠原(洞井)保夫	大F19 神崎康彦	大S11 高島陸雄	大S39 水口明広	大S39 明吉(高野)里子	大H47 花畑悟郎	阪大R5 中野満里奈	短I15 野本裕之	院D16 福元圭太
大E20 平井(太尾)佳代子	大D22 清水(西井)正子	大F20 稲田 力	大S12 萩原準子	大S39 多喜多(安井)昭美	大S39 早川幸夫	大H49 中野雅博	阪大R8 島谷和樹	短I17 天野勝彦	院F8 柴田(森田)久代
大E20 吉波和彦	大D22 春山(春成)千佐子	大F20 神崎(岡野)信子	大S12 三好康明	大S40 多武芳恵	大S9 原 秀雄	大H49 中野雅博	阪大R11 玉生和也	短I17 近藤義隆	院F15 安慶名 操
大E22 藤岡(上田)和代	大D23 藤田 尚	大F20 村本和恵	大S12 安野正起	大S40 荒川(古川)恵子	大S10 大西昌三	大H49 中野雅博	阪大R12 菱田千晶	短I18 岡内(富永)三重	院F17 川北(安生)恭子
大E22 工藤文一	大D24 片山俊介	大F20 宮川文子	大S12 山下 勇	大S40 吉田(丸瀬)都子	大S10 八木三木男	大H49 中野雅博	阪大HG3 本間千穂	短I18 馬場達也	院F20 亀井克之
大E22 谷淵初枝	大D25 高池久隆	大F21 坂口(谷口)善子	大S13 石川善夫	大S43 苗村(谷岡)伸子	大S11 庵原専三	大H49 中野雅博	阪大HG3 上田(安丸)愛子	短I19 松本(瓜生)多美子	院S11 東 明彦
大E22 福満雅子	大D25 中山敏朗	大F22 坂下(馬場)千津子	大S13 大倉(上島)美和子	大S43 苗村(谷岡)伸子	大S11 岡本耕蔵	大H49 中野雅博	阪大HG3 高熊(吉田)知可	短I19 坪 美江	院S13 大内 一
大E23 村山俊明	大D27 大槻孝昭	大F22 藤田 明	大S13 酒井(鬼頭)礼子	大S44 加藤(杉山)真紀	大S11 小畑克之	大H49 中野雅博	阪大HG3 原(辻田)佳菜子	短I19 山岸(辻田)道子	院R1 東井(岡谷)充子
大E24 田中(藤井)容子	大D27 小山(川淵)真由美	大F23 南谷(飯塚)聖美	大S13 園田英徳	大S44 前田順子	大S11 河合次郎	大H49 中野雅博	阪大DM7 増田歩実	短I20 新庄谷洋子	院R13 村田秀夫
大E25 櫻井千賀子	大D28 梶田(八田)真左子	大F23 岡村(寺下)京子	大S14 柴田 進	大S45 今村俊昭	大S11 新出武雄	大H49 中野雅博	阪大SD10 岸本絵里香	短I20 中岡一美	院R20 須佐多恵
大E25 服部弘義	大D29 徳田(加藤)美紗子	大F25 上田(福田)伴子	大S14 下市鴻二	大S45 倉島(櫻井)孝子	大S11 高島陸雄	大H49 中野雅博	阪大SD12 土肥賢也	短I23 丸田雅信	院J

咲耶会(同窓会)本部・支部一覧表

本 部	会 長	連絡先	E-mail or TEL/FAX
	大内 一 (大S28/院S13)	事務局	〒562-8678 箕面市船場東3-5-10 大阪大学 箕面キャンパス 外国学研究講義棟1F
支 部	支部長名		
北海道	笹山喜市 (大IP25)		〒003-0029 札幌市白石区平和通9丁目北1番29号
東 北	黒木一吉 (II E10)	高橋啓介 (大PH52)	〒982-0821 仙台市太白区松が丘15-7
東 京	大下勝巳 (短S5)	樽井一仁 (大R23)	〒114-0003 東京都北区豊島5-2-20-1603
長 野	山西敏博 (院後言社8)		〒386-0034 長野県上田市中之条371-7-202
名古屋・岐阜	白岩 修 (大D19)		〒465-0066 名古屋市長東区梅森坂西1-801-107
石 川	楠根重和 (院D7)		〒920-0813 石川県金沢市御所町1-373
福 井	山下裕己 (大S23)	水嶋俊光 (大F34)	〒915-1232 越前市二階堂町18-8
京 都	宮川徳三 (大S16)	長尾美知代 (大S33)	〒602-8352 京都市上京区稲葉町459
奈 良	佐柄保夫 (大C26)		〒631-0804 奈良市神功1-4-125
大 阪	金村義夫 (II E10)		〒540-0021 大阪府中央区大手通3-3-3 日宝東本町ビル8F101号
神 戸		大江昌子 (大B43)	〒650-0004 神戸市中央区中山手通2-4-15-402 株式会社マーレ
播 但	釜谷研造 (大E2)		〒675-0038 加古川市加古川町木村140-8
丹 波	梅垣 誠 (大E31)		〒669-3309 丹波市柏原町柏原20-1
香 川	大西 晏 (R25)	佐々木雅彦 (大IP38)	〒761-0112 高松市屋島中町298-1
徳 島		小田敏治 (大IN21)	〒770-0003 徳島市北田宮3丁目2-34
愛 媛	垣生千春 (大IP40)		〒799-2460 愛媛県松山市菟木甲119-8
高 知		周藤健史 (大S30)	〒780-0024 高知市前里335-7
岡 山	草野 徹 (大DM23)		〒701-1221 岡山市北区芳賀5112-98
広 島		後藤 峻 (南欧夜F42)	〒722-0022 広島県尾道市栗原町10035-2 シティハイツセビア301号
鳥 取	小原越史 (中北欧夜E30)		〒683-0802 鳥取県米子市東福原5-8-26-202
島 根	勝部由紀夫 (大D33)		〒693-0101 島根県出雲市上島町1363
福 岡	吾郷健二 (大S10)	中尾史子 (大IN27)	〒815-0083 福岡市南区高宮2-18-12-501
熊 本	かじえいせい (大S21)		〒861-2405 熊本県阿蘇郡西原村宮山出の口1547-1
宮 崎	木崎宣博 (大PB42)		〒880-0879 宮崎市宮崎駅東1-5-1 サーパース宮崎駅東1002号
沖 縄	金城徹男 (II D5)	鈴木正士 (大S36)	〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1 琉球大学法文学部国際言語文化学科
北 京	中嶋清治 (大C21)		
		氏家道登 (阪大C4)	北京市 (以下略)
上 海	渡邊 洋 (大C29)	伏村和展 (大C59)	
香 港	太田明雄 (大IT26)	小林敏子 (東アジア大C57)	Flat 9B, Chuen Fat Building, 9 Valley Road, Ho Man Tin, Kowloon, Hong Kong
ソウル	渡邊浩一 (大K35)		Daiwa Securities Capital Markets Korea Co., Ltd 20 Fl.&21Fl, OneIFC, 10 Gukjegeumyung-Ro, Yeongdeungpo-Gu, Seoul, Korea
ジャカルタ	坂口広之 (大IN36)		Bandung, Indonesia (以下略)
		高岡容子 (大IN35)	Jakarta, Indonesia (以下略)
マニラ	テンマタイ都喜代 (大E25)		# 16 Waling-waling St., Tahanan Village, Paranaque City, Metro Manila Philippines 1720
バンコク	阪本法子 (開発・環境大47)		Ms. Noriko Sakamoto800/940 Ashton Chula- Silom, Rama IV Road, Si Phraya, Bangrak, Bangkok 10500, Thailand
ハノイ外語会	若山周平 (大TR49)		M2-2801, Vinhomes Metropolis, 29 LieuGiai, Ngoc Khane, BaDing, Hanoi, Vietnam
ヤンゴン外語会	近藤貴政 (中東大A58)		
イスタンブル	坂本恭典 (大R40)		c/o Mitsubishi Corporation Istanbul Main Branch
ニューヨーク		石田佳子 (大D29)	230 East 44th Street # 3C New York, NY 10017 USA
ロサンゼルス	望月一郎 (大E25)		951 Kingsley Drive Arcadia, CA91007 USA
		西川ノーマン裕子 (大TV36)	4060 Alla Road, Los Angeles, CA 90066 USA
サンパウロ	草薙綾子 (中南米大PB48)		Alameda Santos, 705-cj. 17-Cerq. Cesar Sao Paulo-SP- Brasil-01419-902
ロンドン			
デュッセルドルフ			
パリ	松本隆男 (大F4)		c/o Mr. Takao MATSUMOTO 11 Rue Delabordere 92200 Neuilly / Seine France
イタリア		田中佳代子 (大IT38)	Montefiascone VT Italy (以下略)
モスクワ	岩本 茂 (大R18)		〒169-0051東京都新宿区西早稲田 (以下略)

咲耶会(同窓会)本部・支部一覧表

A horizontal banner with a white background and a thin black border. On the left, the word "SALAT" is written in large, grey, sans-serif capital letters. Below it, the text "同窓会幹事代行承ります。" is written in a smaller, black, sans-serif font. In the center, the text "株式会社 サラト" is written in a bold, black, sans-serif font, followed by "TEL 0120-953-070" in a smaller, bold, black, sans-serif font. Below the phone number, the text "受付時間 月～金 9:30～12:00／13:00～17:00" is written in a small, black, sans-serif font. On the right, there is a cartoon illustration of a grey, round, bear-like character with a white face and a small tuft of hair. The character is holding a small, round, white container with a lid. Above the character, the text "また会いたいなー" is written in a curved, black, sans-serif font. There are several small, grey, five-petaled flowers scattered around the character. At the bottom left, the text "※(株)サラトは同窓会の名簿管理会社です。" is written in a small, black, sans-serif font.

令和7年度 咲耶会役員名簿									
名誉会長	筒井佐代	院 J18	幹事	西村朋也	大 TV22	幹事	並川嘉文	院前日本 7	
会長	大内 一	院 S13	"	石野伸子	大 D22	"	矢元貴美	院前東南ア 8	
副会長	井上泰子	大 E15	"	川村芳範	大 TV24	"	菊池信孝	開発大 57	
"	小林正受	大 E16	"	中島裕司	大 DM24	"	福山泰海	大 H59	
"	樽井一仁	大 R23	"	笹原敬生	大 IN27	"	後藤 峻	南欧夜 F42	
"	青木伸也	大 TV28	"	長尾美知代	大 S33	大学役員	原真由子		
"	岡本淳子	院後言語 8	"	須佐多恵	院 R20	"	菊池正和		
幹事	前田征信	大 K16	"	上原順一	院 R22	会計監査	岡本晶子	大 S29	
"	深川泰博	大 E16	"	植草美香	大 B40	"	野垣和美	大 P33	
"	白岩 修	大 D19	"	福田義昭	院後言語 1	相談役	大水 勇	大 C15	
"	三次召尚	Ⅱ C5	"	大江昌子	大 B43				

『咲耶』編集委員会 委員長 井上泰子／委員 上原順一・岡本淳子・並川嘉文・矢元貴美／事務局 天野豊子・犬飼祐子・大熊美紀

◆ 個人情報の取扱いについて

咲耶会は個人情報保護法遵守の立場から会員個人情報については適切に扱うことが重要であると考えています。

- 登録の個人情報は、下記の目的に利用します。
 - 会員のデータ管理
 - 総会・同窓会活動各種案内
 - 会報『咲耶』の送付
 - 各支部からの申請に基づき、当該地域のデータ提供
 - 語科・同期会責任者からの申請に基づき、データ提供
 - その他会則に基づく活動
 - 自己情報の提供は任意です。
 - 個人データの本人からの請求があった場合には、開示、訂正、追加、利用停止、削除を行います。
 - 同窓生情報のお問合せは、相手方会員の了解があった場合のみのご案内といたします。
 - 登録の個人情報は委託先も含め、機密保持に万全を尽くします。

編集後記 『咲耶』36号をお届けします。

大阪・関西万博の年を迎え、世界がにわかにならに感じられます。1970年の大阪万博から55年、その頃学生だった世代、駆け出しの社会人だった世代も今やシニア世代となりました。それぞれの万博への思いがあり、これまでの人生を思い返し、感慨もひとしおではないでしょうか。在学中に、その開催地で万博を体験できることは、外国語学部生にとっては、実に幸運な巡り合わせであり、世界各国から訪れるさまざまな人々との出会い、未知の文化との遭遇は、人生を変える一つの転機ともなる可能性を秘めています。学生時代に戻った気持ちでこの万博を体験していただきたく、「阪大外国語学部生の大阪・関西万博体験記」を今号の特集としました。

この混迷の時代に、馴染みのない国への留学にはリスクが伴い不安を感じるものです。その不安を周到な準備で乗り越え、確かな足跡を残した二人の学生の勇気に拍手を送りたいと思います。「留学体験記」と「私のキャリアレポート」、どちらも外語精神の系譜を記録にとどめ、同窓の絆をつなぐ場となっています。財政事情厳しい中にも、会報『咲耶』の充実と持続を願い、皆様の温かいご支援、ご協力にすがります次第です。

（編集委員会）

咲耶 会報 No.36(2025)	発行 令和7年9月 発行者 咲耶会(大阪大学外国語学部・大阪外国語大同窓会) 〒562-8678 箕面市船場東3-5-10 大阪大学 箕面キャンパス 外国学研究講義棟 1F ☎ 072(728)2327 ✉ sakuya@sfs.osaka-u.ac.jp 🏠 sakuyakai.net 🌐 www.facebook.com/SAKUYAKAI 郵便払込口座番号: 00910-7-21536 加入者名: 咲耶会	 
--	--	---